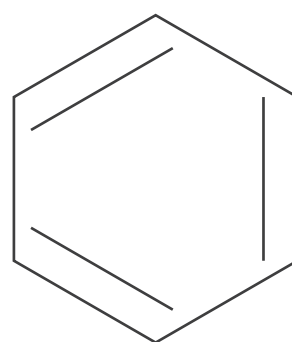
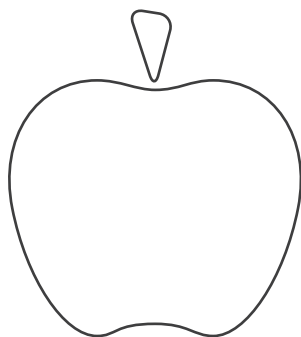
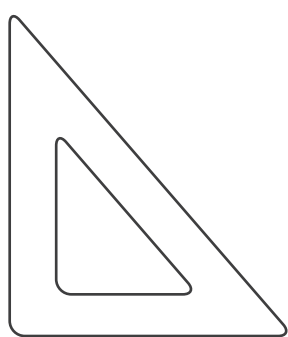


OPEN CAMPUS



筑波大学

数学類・物理学類・化学類

オープンキャンパス 2019 8/10
パンフレット

2020年度改訂版

数学類・物理学類・化学類 3 学類合同大学説明会委員会

まえがき

ようこそ、筑波大学へ。

筑波大学理工学群数学類3年の野尻と申します。本日は遠い中、筑波大学のオープンキャンパスにお越しいただきありがとうございます。ありがとうございました。

筑波大学は「IMAGINE THE FUTURE」すなわち、「開かれた未来へ」をブランドスローガンとして掲げ、開かれた大学、学際融合・国際化への挑戦を建学の理念とする未来構想大学として自らを位置づけています。その中でも理工学群は持続可能な社会に必要な幅広い教養、論理的かつ柔軟な思考力、実践的技能、基礎から応用に至る専門性を習得できる学群としています。また、知的創造、問題発見・解決の能力を有する広い視野と豊かな人間性をもつ人材育成に努めています。

このパンフレットでは合格体験記や学生アンケートをはじめとして、筑波大学の魅力を学生視点から載せております。また、普段の学生の授業やキャンパスライフを詳しく載せています。これを手に取っていただいた皆様に筑波大学の魅力を少しでも知っていただけたら幸いです。

最後となりましたが、この大学説明会が未来の大学生の志望校決定の一助となることを願いまして、ご挨拶いたします。

2019年8月10日

数学類・物理学類・化学類3学類合同大学説明会委員会

統括 野尻 朋哉

※コロナウイルスの感染拡大に伴い、新規作成できませんでしたので、2019年度版を改訂して作成いたしました。

CONTENTS

A 学類紹介編

数学類	04
物理学類	08
化学類	12

B 合格体験記編

数学類	18
物理学類	21
化学類	24

C 学生生活編

現役大学生に聞いてみました	30
筑波大学の1年	36
大学生の1日	38
大学の施設	40
宿舍生活	42
学生団体	43
卒業後の進路	47
委員からのメッセージ	48
編集後記	49

学類紹介編



数学類

数学類で学ぶ

数学類長 寛知之 先生

数学とはどのような学問でしょうか？高校生の皆さんから見れば数学とは受験数学のことであり、公式を丸暗記したり、解法を覚えたり、の繰り返しが数学なのだと考えておられる人は多いのではないかと思います。私自身は、高校生の頃は、機械のように正確に公式を適用し最後まで間違えずに複雑な計算をやり抜くということが下手で、よく試験ではケアレスミスをしていました。そのような意味では受験数学に苦手意識がありました。一方で、数学そのものには美しさと同時に不思議な魅力を感じていました。具体例を一つ上げます。

$$\frac{1}{1} + \frac{1}{4} + \frac{1}{9} + \frac{1}{16} + \frac{1}{25} + \cdots = \frac{\pi^2}{6}$$

これはオイラーという18世紀の有名な数学者が証明した等式ですが、何故、平方数の逆数を無限に加えていくと円周率が現れるのだろうか？と不思議に思っていました。そして、私が大学で数学という分野を選んだのはテストで高得点を取れるからではなく、上に述べたような不思議な世界を解明してみたいと思ったからです。実際、受験生時代に受験数学にどっぷりと浸かっていた私にとって、大学での数学には考え方の大転換を感じました。例えば、大学でも微積分の授業はありますが、高校で習う微積分の続きから始めるのではなく、実数というものの定義を厳密に行う事から始まります。そして、高校では曖昧に習っていた極限や連続といった概念を厳密に定式化していくのです。これは、微積分だけでなく数学のどの分野でも同様であり、当たり前だと思っていることに徹底的に拘り、一つ一つの概念に明確な定義を与え、厳密な論理の積み重ねで様々な定理や命題を証明し、体系化していくという作業を行います。このような言い方をすると数学とは退屈で堅苦しい学問だと思われるかもしれませんが、しかし、このような厳密な理論化、体系化を行う事で、当時の天才数学者オイラーが示した上記の不思議な等式が数学科3年生レベルの知識で理解できるようになるのです。更に、数学の理解が深まるにつれて、数多くの不思議な定理や等式があり、それらで構成された美しい世界が広がっていることを実感していくことになるでしょう。

ここで筑波大学数学類の特徴について説明しておきましょう。私が大学生のころは、数学の勉強というと難行苦行というイメージがありましたが、今ではかなり改善されています。例えば、筑波大学数学類では、高校の数学と大学の数学のギャップを解消するため、「数学リテラシー」という科目が開講されています。また、数学で躓いてしまった人をケアするために「数学手習い塾」というものも用意されています。その一方で、数学の最先端の研究を紹介する科目もあり、数学の持つ美しさを味わいたいという人、あるいは、数学を生かした職業に就きたいと考えている人、など、様々な人の要求に十分に応えられるような科目構成となっています。高校生の皆さん、全国で類を見ないほど学生を大切にする筑波大学数学類で数学という学問を堪能しようではありませんか？

数学類の時間割例

＊2年生・春学期ABモジュールにおける一例です。

	MON	TUE	WED	THR	FRI
1					
2		ベクトル 解析と幾何		ベクトル 解析入門演習	
3	微分方程式 入門	日本国憲法	体育		
4	微分方程式 入門演習	日本国憲法	集合入門	哲学通論	線形代数 続論
5	数学科 外書輪講Ⅰ	計算機演習	集合入門 演習		線形代数 続論演習
6					

数学類はこんな人が向いている！？

高校のときに数学に疑問をもっている人や、とことん1つのことを考えるのが好きな人！「なんとなく」が許せない人が向いています。

数学類のいいところ

- ・40人と少ない人数の学類なので指導が丁寧！
- ・演習授業や先生が独自に開く塾に空きコマで参加することで先生に質問でき、疑問を解決できる。
- ・ひとりひとりの個性が強く面白い人が多い！

数学類の先生方に 聞いてみました！



- ① 現在どのような研究をされていますか？
- ② 筑波大学を目指す学生へメッセージをお願いします！

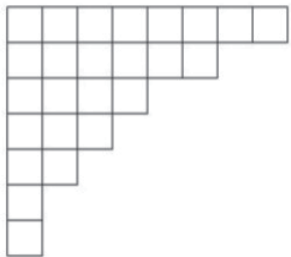
佐垣大輔先生

① 私の専門分野は「組み合わせ論的表現論」と呼ばれる分野です。「組み合わせ論」というのは、大雑把に言えば「与えられた条件を満たすものの個数を数え上げる」分野です。例えば、高校(数学A?)で習う「 n 個のものから r 個を選ぶとき、組み合わせの総数は？」とか「 n 個のものを1列に並べる方法の総数は？」といったものも組み合わせ論の問題と言えるでしょう。私の研究に密接に関係するものだと「標準Young 盤の数え上げ問題」が挙げられます。

問題. 以下の図にはマス目が25個ある。各マス目に1から25までの数字を次のルールで記入する方法は全部で何通りあるか？

(a)各マス目について、そのマス目の右側にマス目がある場合は、そのマス目の数字より右側のマス目の数字の方が大きい。(右にいくほど大きい。)

(b)各マス目について、そのマス目の下側にマス目がある場合は、そのマス目の数字より下側のマス目の数字の方が大きい。(下にいくほど大きい。)



こういう組み合わせの数を効率よく数え上げる方法(公式)を見つけてください。

一方、「表現論」というのは「群や環などの主に代数系が線形変換として作用するベクトル空間を研究する」分野です。「ベクトル空間」や「線形変換」は1年生の線形代数で学ぶ概念です。(昔は高校数学でも線形代数の初歩である「行列」として教えていました。)私が主に研究しているのは「リー代数や量子群の表現論」ですが、この分野は組み合わせ論をはじめとする数学の様々な分野だけではなく、物理学や化学とも密接に関係していて、大変重要で興味深いものになっています。

② 数学の学生はどういうところに就職できるの？(就職先あるの?)とよく聞かれます。答えは、一般的な職業であればほぼ何にでも適応できます。社会における数学のニーズは、今でも高いですし、今後さらに高まると予想されます。企業は、大学や大学院で高度な数学を経験して、論理的に考える力を身に着けた学生を求めています。是非、数学類に入学して、高度な数学を経験し、企業から強く求められる人材になってください。

木下保先生

① 私の専門は解析学です。特に「波」に関する次の2つのテーマを研究しています。まずウェーブレット解析の研究で、200年程前、関数を三角関数の級数で表し解析する研究がフーリエによって始まりました。三角関数は無限に繰り返し広がる波の形をしています。局在する波の形であるウェーブレット関数を用いた解析が近年発展しています。その技術は1980年代初めに地球物理学の石油探査および地震波を中心とした研究で登場し、現在では量子力学、計算生物学(DNA、タンパク質構造)、信号処理(音声圧縮、医療超音波検査)、画像処理(JPEG2000、フラクタル)にまで盛んに応用されており、非常に魅力的な数学の研究分野です。

次に波動方程式の研究:微分方程式を用いて、自然界の法則を表すと式がとても美しいです。微分方程式を解くことで、その法則から従う結果が予想できます。光や音などは波動方程式と呼ばれる波の伝播を表す微分方程式によって記述されます。また一口に「波」と言っても“”、次元に応じてその性質を変えます。ギター弦の振動だと1次元の波で単純な動きですが、2次元以上になると大変興味深い物理現象も引き起こします。地震や津波が伝わる様子等も波動現象ですから、波動方程式を数学的に研究してそれらのメカニズムを解明したいです。

② 大学の微積分で習う「偏微分」というのは空間と時間で多次元となったときの変化をとらえるのに大変有効な手段となりますので、ぜひとも大学に入ってから勉強がんばってください!人生は山あり谷あり、その山と谷の形状も「波」なのです。波の研究をすることで、神羅万象の様々なサイクルを読むことが可能となります。身近なことで構いませんので、みなさんも何でもいいから法則を見つけてください。人生のうちにいつか、みなさんの発見した法則が役立つことがあるかもしれません。

相山玲子先生

① 幾何学・微分幾何分野を専攻しています。幾何学は、空間や図形の性質を研究対象とする分野ですが、そのアプローチの方向性は様々です。微分幾何は、空間や図形の曲率つまり曲がり具合に注目する分野です。例えば、曲線を運動の軌跡ととらえたとき、曲率は加速度と深く関係する量であるといえ、高校3年生の皆さんには、微分幾何の冠する「微分」のニュアンスを感じていただけるでしょうか。

② 私は特に空間の中に曲がった図形がどのように収まるべきであるのかを主として考えてきました。例えば、シャボン玉はなぜ丸いのかといった問題から発展した方向性の研究です。ずいぶん昔になってしまいましたが、私は筑波大学の出身で、最初から数学を勉強するつもりで、入学しました。「なぜ」を論理的に厳密に追及できる学問であると魅力を感じたからです。精密な裏付けのもとで構築されてきて、現在もどんどん新たに創造され発展しつつある体系的な理論の一端を覗けたとき、畏怖の念とともに意欲を掻き立てられたのだと思います。幾何学を専攻したのは、もともと幾何学模様などの秩序だった図形の理論に興味があったこともありましたが、大学での数学の授業を通しての、良い意味での驚きを伴った出会いであったと思います。筑波大学の数学類では、様々な分野の数学と出会えますが、いずれの分野を選択するにしても、土台をしっかりと積んで足場を固めることは必要です。講義を聴いて演習問題を解いて勉強するというスタイル自身は高校までと変わらず、進度が早いだけで大変とを感じるかもしれませんが、「理論」の塔を上るスキルを自分で磨くことを怠らなければ、体系的な理論の眺望を楽しめるようになると思います。数学に限らないかもしれませんが、皆さんが筑波大学で何かしらよい景色を眺められるようになることを祈っています。



物理学類

物理学類で学ぶ

物理学類長 守友 浩 先生

皆さんの多くは、高校で「物理」を履修してきたことと思います。そして、「物理」の単純さに心を惹かれたのではないのでしょうか。例えば、ニュートンの運動法則(力＝質量×加速度)という一本の式が、いろいろな事象を説明します。もしそうであるならば、皆さんは「物理」の本質に触れたということかもしれません。

そうはいつでも物理が奥深いものです。高校での「物理」と大学での「物理」の違いは、言語にあります。皆さんは物事を考えるときは、もちろん、日本語ですよね。でも、物理を考えるときは、世界の共通言語である数学(数式)で考えます。なぜ数学かといいますと、数学が最も厳格であり最も論理的な言語だからです。数学には感情の入り込む余地はありませんし、世界中の誰が見ても一義的にしか読み取れません。ですので、大学では、物理学を学ぶために、数学をしっかりと学習します。日本史を学ぶために日本語をしっかりと学習する、そういった感じです。物理学の問題(これは日本語)を数式に翻訳し、数式を数学のルールに従って変形し、最終的な数式の意味するところを(日本語に置き換えて)理解する、こういった訓練を行います。この訓練によって、高校でも履修する「力学」と「電磁気学」は、よい教材となります。「力学」と「電磁気学」はよい教材ですし、現代社会を支えている基盤学問です。ロケットを飛ばすのも、巨大構造物を作るのも、電気を作るもの、こうした学問のおかげです。ですが、これらは19世紀の学問であり、現代物理ではありません。大学では、現代物理学を学びます。例えば、「量子力学」では、あらゆるものは波動性と粒子性を兼ね備えている、ということを学びます。この話を最初に聞いた人は、??となることと思います。でも心配しないでください。みんな初めはそんなものです。この話を現実のものとして受け入れられるようになるのは、量子力学的な考え方が固体中の電子の振る舞い(Naは金属だけど、Siは半導体)を見事に説明することを聞いてからでしょう。

物理学類のカリキュラムの特徴は、(1)物理学のしっかりとした基礎を築くこと、(2)現代物理学の幅広い知識が得ること、そして、(3)学んだ物理学の知識を応用すること、にあります。1年次から2年次の前半までは、数学と「力学」、「電磁気学」を通じて、物理学の基礎を築きます。2年次から3年次までは、「量子力学」「統計力学」「相対性理論」といった、現代物理学を幅広く学びます。4年次には、卒業研究で各自に研究テーマが与えられ、それまでに学んだ物理学の知識を応用します。

物理学類の時間割例

＊2年生・春学期ABモジュールにおける一例です。

	MON	TUE	WED	THR	FRI
1		力学Ⅲ	電磁気学Ⅲ		物理数学Ⅰ
2		物理数学Ⅰ		ベクトル 解析入門演習	
3	量子力学Ⅰ		体育		
4	物理学 実験Ⅱ		連続体 物理学		英語
5					
6		計算 物理学Ⅰ			

物理学類はこんな人が向いている!?

物理学を学びたい!という人はもちろん、「物理って難しそう…」と思う人でも身近な現象に興味があれば向いていると思います。物理学は現象の原理を理解して計算をして解析する学問なので、興味を持つだけで十分な資質を持っていると言えるでしょう。身近なものから素粒子や宇宙など研究対象のスケールを問わないので何かを学びたい、考えたいと思う人は誰しもが物理学類に向いています。

物理学類のいいところ

物理学類のいいところはやはり物理学を徹底的に学べるところ!物理といえばよく連想される特殊相対性理論や量子力学は2年次に履修することができます。また1年次のセミナーではプラズマ研究センターや高エネルギー加速器研究所などの最先端の研究施設を見学することができます。このような恵まれた環境で物理学を学べるというのはこの学類の利点です。

物理学類の先生方に 聞いてみました！



- ① 現在どのような研究をされていますか？
- ② 筑波大学を目指す学生へメッセージをお願いします！

伊 敷 吾 郎 先生

① 私は現在、素粒子理論を研究しています。素粒子理論といえば、電子のような小さな粒子がどのような運動をするかを調べる学問だと思われるかもしれませんが、必ずしもそれだけではありません。「この宇宙の基本法則は何か」という最も基本的な問いに答えるのも、この分野の重要な目標の一つです。例えば、ものが地面に落ちる、という重力の効果は、ニュートンの理論によって見事に説明されました。しかし、この世界にはミクロの素粒子の運動や、宇宙のブラックホールの物理など、ニュートンの理論だけでは説明できない現象がいくつもあります。これらはそれぞれ量子力学や、相対性理論によって説明できるのですが、実はこの二つの理論もそれぞれ守備範囲が決まっており、その守備範囲を超えた物理は記述できないという弱点を持っています。素粒子理論の大きな目標の一つは、これらの既存の理論を融合し、全ての物理現象を記述できるような「万物の理論」を構成することにあります。私は現在、そのような理論の候補と期待されている「弦理論」という理論を研究しています。この理論は現段階では未完成ですが、いつか完成すればいいなあと夢見ながら、研究を続けている毎日です。

② さて、素粒子理論といえば、湯川秀樹、朝永振一郎をはじめとして、多くの日本人ノーベル賞受賞者を輩出した分野でもあります。特に筑波大学は朝永振一郎が学長を務めた東京教育大学を前身としており、素粒子理論研究の強い伝統を持つ大学です。私の所属する素粒子理論グループでも、昔ながらの紙と鉛筆を使った研究から、最先端のスーパーコンピュータを使ったものまで、非常に幅広い研究がなされており、充実した研究環境が整っています。この分野に興味がある方はぜひ、筑波大学を候補に考えてみて頂ければと思います。この文を読んで下さっている皆さんと、将来一緒に研究ができる日が来るのを楽しみにしています。

久 野 成 夫 先生

① 皆さんがよく目にする可視光での天体写真に写っているのは、主にきれいに輝く恒星です。しかし、宇宙には恒星以外にもいろいろなものが存在します。現代の観測天文学は、電波からガンマ線まで、あらゆる波長の電磁波を使って我々の目で直接見ることができない宇宙を観測しています。また、ニュートリノや重力波といった電磁波以外での観測も行われるようになってきています。私は、その中で主に電波を使って宇宙の観測をしています。電波の場合、星間空間に漂う冷たいガスや塵を見ることができます。恒星や惑星はそういった星間ガスや星間塵が集まってできるので、どうやって宇宙で恒星や惑星が誕生するのか、さらに恒星の集まりである銀河がいつどうやって誕生したのかといったことも電波の観測によって調べることができます。我々の研究室では、観測するための装置の開発も行っています。自分たちで作った装置で、誰も見たことのない宇宙を観測するのが、観測天文学の醍醐味です。現在は、銀河の誕生や進化についての研究をするために、地球上で最も観測条件の良い南極（標高3000m以上、冬の最低気温－80℃!）に電波望遠鏡を建設することを目指しています。

② 高校までは、ほとんどの人が同じような勉強をしてきたと思いますが、大学からはそれぞれが興味をもっていることを選んで勉強することができます。大学だけで人生が決まるわけではありませんが、そこで何に出会うかというのは、あなたの人生にとって、とても大きな意味を持ち、将来の職業へとつながる大事な期間だと思います。筑波大学には、幅広い学問分野の研究者がいます。また、海外からの留学生も多く国際交流も盛んです。新しい世界に触れたいと思っている皆さんにとって、とても刺激的で魅力的な世界が待っています。あなたも筑波大学で、将来につながる何かを見つけてください。

笹 公 和 先生

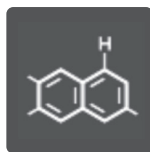
① 加速器の開発と高エネルギー荷電粒子ビームを用いた実験的研究をおこなっています。特に、2016年から筑波大学で稼働を開始した6 MVタンデム型静電加速器の設計と開発を担当しました。研究では、加速器からの高エネルギー荷電粒子ビームを用いて、原子核や物質の構造解析研究の他に、宇宙放射線環境の模擬試験や極微量の宇宙線生成核種の検出などをおこなっています。大学以外の研究機関との共同研究も多く実施しており、JAXAの次期主力ロケットや人工衛星に搭載する半導体素子の放射線耐性試験なども実施しています。最近では、南極で掘削されたアイスコアに存在する宇宙線生成核種を加速器質量分析法で検出することで、過去に地球に降り注いだ宇宙線の強度変動を調べています。過去数千年の間に大規模な太陽面爆発が複数回発生しており、その痕跡とエネルギー規模を探索する研究を進めています。

② 筑波研究学園都市には多くの研究機関が集積しており、世界最先端の科学技術に携われるチャンスが数多くあります。私も、つくばにある産業技術総合研究所や高エネルギー加速器研究機構、JAXAなどと共同研究をおこなっています。また、加速器などの大型実験装置を用いておこなう研究では、国内だけではなく海外に向いて研究活動を実施する場合があります。筑波大学は、海外の加速器施設を用いた研究が盛んな大学であり、欧州原子核研究機構（CERN）や米国ブルックヘブン国立研究所（BNL）などの大型加速器を用いた研究に学生の方も参加しています。皆さんも筑波大学に進学することで、このような機会に巡り会える可能性があります。留学生も多く在籍しており、海外留学に関するプログラムや支援事業も充実していますので、国際性豊かな環境で学べる大学です。

中 務 孝 先生

① 私の研究分野は、理論核物理学とその関連分野です。原子の中心にある原子核の構造や反応を研究しています。地上では原子核というのは目で見ることはできないミクロな物体ですが、宇宙には中性子星と呼ばれる巨大な原子核がそのまま星になった天体があります。最近はこの中性子星の構造や現象も研究テーマとしています。加速器を用いた地上での実験や、宇宙で観測される面白い現象を理解するため、モデルの構築と計算によってそのメカニズムを理解することを目指した研究を行なっています。また、場合によっては工学的応用への発展も目指しています。このようなモデルと数値計算が有機的に発展し、現象の本質に迫ることができたとき、さらにそこから新しい物理を作り出すことに成功したとき、研究者として無上の喜びを感じます。

② 高校までの教育は、指導要領というものがあって、教えるべき内容が決まられています。ところが、大学教育にはこのような厳密な決まりがありません。それは、極端な言い方をすれば、学生一人一人が自分で決めるものなのです。筑波大学に入学したら、ぜひ自分が熱中できる学問を探して、その道を極めてください。私自身の話をすれば、大学に入学して3年目に量子力学に出会って、自然界がもつ不思議で美しい数学的構造に圧倒されました。夢中で朝から晩まで教科書を読んだ記憶があります。教科書には分からないこと、理解できないことが沢山出てきます。しかし、それが理解できた時の喜びはまた格別です。大学の教員もその手助けくらいはできると思うので、上手に使ってください。もしかすると、その夢中になれるものは物理学ではないかもしれませんが、それでも良いと思います。何かに夢中になれるということは若者の特権だと思います。あの頃のような情熱を持って何かに取り組むことがなくなってきたことを、最近非常に寂しく感じます。



化学類

化学類で学ぶ

化学類長 市川 淳士 先生

化学は、物質を対象としてそれがどのような構造であるのか、どのような性質をもっているのか、どのような反応を起こすのか等を、分子・原子のレベルで考えます。自然界における普遍的な法則を追求しながら、新しい物質の創製や材料の開発、未知現象の探求、環境・エネルギー問題の解決、生命現象の解明等を行う学問です。高等学校までの化学では、化学現象を定性的に学びますが、大学ではなぜそのような現象が起こるのかを、理論的にまた定量的に、理解・解明することとなります。例えば、高等学校では、硫酸銅(II)水溶液に亜鉛を浸すと、亜鉛は溶解し銅が析出する現象について、金属のイオン化列から定性的に学びます。同じ現象を大学では、熱力学を基礎から学んだ上で、それぞれの金属が関係する標準電位から酸化還元平衡について定量的に考えます。様々な化学現象の解明には、化学と物理学等を基盤として考えることになるため、化学だけでなく物理学や数学もよく理解し、活用できることが不可欠となります。

筑波大学理工学群化学類では、4年間で化学の基礎から専門まで積み上げる教育を実施しています。1年次においては、講義により化学の基礎と、化学を理解する上で必要となる数学、物理学等を学びます。2・3年次においては、講義により無機化学、物理化学、有機化学、分析化学、生物化学等の専門化学分野を系統的に学び、化学実験および専門化学実験(無機・分析化学、物理化学、有機化学)で、講義内容の理解を深めます。特に3年次の専門化学実験は、週3日間(13:45～18:00)行い、4年次以降の化学研究を行うために必要な基礎的な実験技術、解析方法、考察の仕方等も修得します。また、外国人教員による化学英語に関する講義もあります。4年次には、先端的な化学の知識を学ぶとともに真理を探求するため、卒業研究を行います。卒業研究では、希望に応じて研究室に配属され、一人一人異なる、しかも結論のわからない研究課題に1年間取り組みます。これらを通して、自然科学の基礎的な知識を修得し、科学的な思考法を身につけ、物質や化学現象を分子・原子のレベルで理解できるようになります。

筑波大学理工学群化学類では、高等学校までに化学に関する十分な学力と、数学や物理学、生物学等の関連する分野の基礎学力を備え、自然界における普遍的な法則を追求し、新規物質や未知現象を探求する意欲に溢れる人を求めています。化学類での学修と研究を通して、化学の面白さや重要性を再認識し、化学者としての第一歩を踏み出しましょう。

化学類の時間割例

＊2年生・春学期ABモジュールにおける一例です。

	MON	TUE	WED	THR	FRI
1					
2	無機化学Ⅲ	有機化学Ⅱ		物理化学1A	無機化学Ⅰ
3	分析化学A		体育	化学概論	有機化学Ⅰ
4	化学 基礎実験		集合入門		生物化学
5		物理化学2A		哲学通論	基礎外書 輪講
6					

化学類はこんな人が向いている！？

化学に興味がある人！好奇心旺盛で化学が好きな人！

化学類のいいところ

実験室や研究センターなどの設備が充実しており、大学で専門的に化学を学びたいという人にとって、うってつけの環境です！また、1学年が少人数なので先生の目が行き届き丁寧な指導が受けられます。

化学類の先生方に 聞いてみました！



- ① 現在どのような研究をされていますか？
- ② 筑波大学を目指す学生へメッセージ お願いします！

一戸雅聡先生

- ① 私は、周期表で炭素(C)の真下に位置するケイ素(Si)を中心として、第3周期以降の典型元素(高周期典型元素と呼ばれています)の化合物に関する研究を行っています。一般に高校までの化学では、最外殻の電子数が同じ典型元素(同族元素)はよく似た性質を示すと説明されていますので、炭素化合物(有機化合物)中の炭素原子をケイ素に置き換えた類似の化合物が存在するはずで、構造や性質が似ていると予測されます。しかし、長年合成することさえ出来ない化合物もありました。例えば、アルケン(C-C二重結合を含む化合物)やアルキン(C-C三重結合を含む化合物)の多重結合を形成する炭素原子をSiに置き換えたSi-Si二重結合物やSi-Si三重結合物は、多くの研究者がそれらの合成に挑戦していたにもかかわらず、1970年代半ばまでは安定な化合物として得られず、存在しないとさえ考えられていました。そのような状況の中、私たちの研究グループが2004年に世界で初めてSi-Si三重結合物を合成することに成功しました(Si-Si二重結合物は私たちの研究より23年早く、1981年に初めて合成されています)。合成してみると、Si-Si三重結合物の構造や性質はアルキンとは大きく異なっていることが分かってきています。これまでにない新しい結合や構造を持つ化合物を実験的につくるチャレンジングな研究を楽しんでいます。

- ② 大学入学後に学ぶ事は当然として、部活動やサークル活動、アルバイトなど多くのことをやってみようと夢や目標を持っていることと思います。受験勉強は大変だと思いますが、大学入学を目指して一日一日努力を積み重ねて欲しいと思います。

山崎信哉先生

- ① 現在進めている研究は、環境中に存在する放射性同位体がどのように環境中を移動するかについて、化学形態(イオンとして水に溶けているのか沈殿しているのか、無機物なのか有機物なのかなど)の観点から調べることです。その他、原子力発電により生じる放射性同位体を効率良く回収するための新しい方法を開発しています。地球上で起こる様々な自然現象を元素や化学反応の観点から理解する(できる)ことに楽しみを感じています。最近は野外調査をする機会も多く、国内外で研究するための環境試料を集めたりしています。実験室から飛び出して池の水や畑の土を採取するのは化学類の中では珍しい研究室だと思います。また、野外調査を通じて国内外の様々な人々と協力して交流をはかるのも楽しみの一つです。

- ② 総合大学である筑波大学では、学類の隔てなく多種多様な授業を受ける事ができます。自身が所属する学類の授業がない時間は他学類が開講する授業を取る事もできます。専門だけを深く学ぶことに留まらず視野を広げる事ができ、自分の興味に沿って時間割を組めるのは本大学の長所だと思います。このように大学生になると主体性が重要になってきます。大学では、自分から望めば留学やインターンなど様々な機会を得る事ができ社会との接点も多くなります。自分が人生の主役であるという意識を持てば、非常に充実した大学生活を送る事ができます。また、研究室に配属されると自分の研究テーマについて実験をもとに議論を深めていきます。どの研究室も最先端の研究を進めていて、自分オリジナルの研究を進める機会も十分にあるはずです。つくば市は研究所も多く、研究に関するインフラは全国でもトップレベルだと思っています。このような恵まれた環境の中で一緒に研究できる事を願っています。

石塚智也先生

- ① 私はポルフィリンという分子を主な対象として、分子と分子の間の弱い相互作用を利用した分子の組織化(このようにして組織化された分子を超分子と言います)や、ポルフィリンの中心に配位された遷移金属イオンの反応触媒活性を研究しています。ポルフィリンという化合物は、みなさんの血液の中にも、赤い色の成分として含まれています。血液中では、ポルフィリンは中心に鉄イオンを持っていて、その鉄イオンが酸素分子と結合することで、酸素の運搬や貯蔵が達成されています。またポルフィリンに類似した骨格は、緑色植物の葉緑素の中にも含まれ、太陽光の吸収や、光エネルギーを化学エネルギーに変換する過程で重要な役割を担っています。このように自然が巧みに用いているポルフィリンが持つ多様な機能を、人工的な分子系でも上手に利用していきたいというのが研究の動機です。特にポルフィリン近傍に反応する分子を捕まえるための構造を導入したり、ポルフィリン自体が酸化・還元しやすくなるように分子構造を変換したりする研究に取り組んでいます。

- ② 今年は、コロナウィルスに振り回されて、高校生のみなさんも落ち着かない不安な日々を過ごされているのではないかと思います。大学というのは、このような世界的な問題に対しても、対処する手段を学べるところです。それは何も実際に患者さんの治療に必要な医学や薬学だけではなく、いろいろな問題に対して強靱な対応ができる社会のあり方や、不安な人たちの心に寄り添う方法に関しても興味を持てば学べると思います。もちろん、それ以外にも、みなさんが持っている様々な夢を実現するために必要な知識を、存分に学べるところです。そのような希望を持って、ぜひ筑波大学に進学して欲しいと思います。

湊辺耕平先生

- ① 私が専門としているのは、有機化学のなかでも特に「有機合成化学」と呼ばれる分野です。有機合成化学とはその名の通り有機化合物をフラスコで合成するための反応を創り出す学問分野で、分子を意図したとおりの正確な構造で、あるいは簡単に合成することを目指します。標的になるのは多くの場合医薬品や電子材料にも含まれる普遍的な構造ですが、レアな構造であっても、合成化学の立場からの新しい提案として研究対象に選ぶこともあります。もっとも大切なのはそこに新しいコンセプトがあるかどうかで、分子のみならず新しい化学を切り拓いているかどうかで研究としての価値が決まります。私の場合は、まず紙とペンで反応の基本設計を行います(これが一番大事)。これをさまざまな理論を用いて補強・修正し、データベースを使った文献検索、コンピュータを使った理論計算、実験による試行錯誤を経てオリジナルの反応を完成させます。例えば物心ついたころから何かをまぜるのが好きで、小学生の頃は手近にある液体をまぜあわせて新しい薬や殺虫剤(と称する何か)を作って遊んでいました。高校生になった頃は少し高度な実験もしていましたが、幸運なことに、基本的に特に何かが変わるということもなく現在に至ります。心惹かれるものは探して見つかるようなものでもないと思いますが、それでもちょっとしたきっかけで見つかることもあります。日々の勉強や家族や友達のかかわりなど、日常をていねいに過ごしてみてください。

- ② 最後に、受験生のみなさんには高校で教わるすべての科目にしっかりと取り組んでもらいたいと思います。化学を理解するには基本的な物理学が必要ですし、数学の素養も必要です。学び、語るための国語や英語のちからも必要です。若いみなさんがさまざまな体験をすることはもちろん大切ですが、大学で本格的に学ぶための基礎学力もまた、必要不可欠です。

| 合格体験記編



合格体験記

今年入学した1年生たちがどんな受験期を過ごしていたか、以下の3つの質問に答える形で教えてもらいました。体験記を参考にして、後悔のない受験生活を送ってください。一同、心より応援しています。

- ① 受験に向けてどのように勉強していましたか？
- ② モチベーションをどうやって維持していましたか？
- ③ 受験生にメッセージをお願いします！

数学類

木村 奎太 推薦

① 私は、この大学を推薦入試で受験しました。数学類の推薦入試は小論文と面接の2段構成でした。小論文は数学の問題のみで構成されていました。なので、まず問題を解くための地力を上げるために、高校の数学の先生と分野別に解答練習を夏休みまで行いました。夏休みが明けてからは入試レベルにあった問題集を1冊購入し、その問題集に執着して様々な解法を習得しました。そして、受験前最後の1か月で筑波大学の過去問を実際に解き、入試問題の感覚をつかんでいきました。面接の対策として、放課後に担任の先生には場数を踏む練習をしていただきました。クイックレスポンスや面接のマナー、姿勢などの基本を固めていきました。また数学の先生とも面接練習を行い、こちらでは、専門的内容を交えた練習を行いました。



② 第一に、私は受験勉強を始めるにあたって1番の趣味を禁止にしてそれを友人にも公表しました。これにより友人の目を気にせざるを得ない状況を作りこれを遵守しました。推薦で合格すればはやく趣味解禁できるのでモチベーションに繋がりました。また私の場合、数学が好きで数学類の推薦入試を受けたので、勉強中新しい解法を見つけたり、きれいに問題が解けたりすることがモチベーションに直結しました。なので、もし勉強で詰まってしまったら、自分の好きな教科を取り組むことは復習になり、かつリフレッシュにもなるので一石二鳥のモチベーション維持につながると思います。しかし、好きな教科でも行き詰まることもあります。このようにどうしてもモチベーションが落ちてしまった場合には、上記で封印した趣味以外の趣味を少しだけやり、気分転換しました。私にとって大事なことは、趣味を封印するときに、全て封印するのではなく少しだけ残しておき、つらい時に取っておくことです。そして、つらい時に勉強してもだいというまいかないので遊ぶことです。但し、節度を守って。

③ 勉強の成果は時間と内容に比例します。いくら時間をかけて勉強しても、目的もなく教科書読んでいだけじゃ意味ないです。しかし、しっかり目的をもって勉強すればたった5分、通学時間の勉強も有益になります。受験勉強は何故、何のためにその内容を学んでいるのかを考えて勉強してください。そしたら何かが見えてくるはずですよ。

石神 愛門 推薦

① 僕は大学受験に向けて意識して勉強したことが2つあります。1つ目は学校の授業でやった基礎的なことを復習して、しっかりと土台を作ること意識して勉強していました。わからないところはどんなに時間がかかっても、できる限り自分で考えて、どうしてもわからなかったら調べて、それでもわからなかったら先生やできる友達に聞くということをしていました。1回1回のウェイトは大きいかもしれないけどその分、定着しやすいかなと思ってこの方法でやっていました。理解した後に問題演習といった感じで理解の部分に少しだけ時間をかけることで応用問題みたいな難しい問題にも、たとえ最初わからなくても解説をみたらすぐ理解できるようにしていました。2つ目は演習で問題集をやりきることを意識してやっていました。例えば夏休みでは数学IAとIIBの問題をまずはセンターレベルを全部やるといった感じで期間ごとに自分なりのできる範囲での目標を立てて学習をしていました。



② 僕は3年生になるまでは受験のモチベーションを保てておらず、前の1週間勉強したけど、今週は全然勉強時間がとれていないというふうにする時としない時があり、安定して毎日勉強できていませんでした。さすがにこのままではマズイなと思ったのでどうやってモチベーション高く勉強し続けられるんだろうかと考えたところ、とりあえず1日の時間内でどの行動によって時間を削られてしまっているか考えました。僕はゲームや動画に時間をとられていることがわかり、なおかつそれらのコンテンツで遊んだ後に時間を決めて勉強しようとしても熱中しすぎて勉強をサボったりしていたので遊ぶことができる環境を排除して勉強だけをする環境にしようしました。結果としてモチベーションを高くなおかつ継続して勉強を続けることができました。

③ 最後に、今年度が最後のセンター試験となり、今回の試験に失敗すると誰も受けたことない新体制のテストを受けることになるのでプレッシャーになっている人も多いかと思いますがまだ時間はあるのでこれまであまり勉強できてなかったよって言う人はこれからが勝負になると思いますし、これまで勉強してきた人は継続して自分の志望校に合格できるように頑張ってください。

牧野 創 一般

① 高1、2についてはかなり勉強をさぼっていたので割愛させていただきます。(家庭学習は週に3時間あればいいほうでした。)高2の1月から高3の6月、部活引退までは週末に出かけて6時間ほど勉強し、平日は今まで通りゆったりしていた感じでした。受験を意識し始めたのはこのころでした。部活を引退した後は、平日は学校に残り勉強し、週末は出かけて勉強していました。(平日5時間、土日10時間)受験をする上で、自分の意識を高く持つことが重要だと考えていたので、過去問は東大の数学の過去問を解いていました。もちろん、難しくてほとんどの問題を間違っていました。しかしその分解き切れた時はうれしかったですし、筑波大学の問題のように基本に忠実な問題を簡単に解けるようになりました。要は負荷をかけた問題演習をした方が良いという事です。受験直前になるまではひたすら負荷をかけて問題を解き、本番1か月前から過去問を解きまくっていました。この負荷をかけた問題演習により、私はかなり余裕を持って受験に臨めたと思います。



② 受験期になってみんなスマホをやめるなどしていますが、私はそんなことをしてもストレスが溜まるだけだと思い、時間を制限するだけでスマホゲームやSNS系はやめていませんでした。そもそも今までスマホを常に使っていたのにいきなり勉強に集中できるくらいその大学に行きたいと思っているならば、モチベーションに関しては心配することはないです。残念ながら私は受験校に対して迷いがあったので、スマホを息抜きとしてモチベーションを維持しました。

③ 受験をして学力は変わっても、人となりは変わりません。無理しすぎず、自分ができる最も良い効率で受験に臨んでい

ただきたいです。そのためには高校の先生、塾等利用できるものは積極的に利用してください。そして、最後に勝つのは最も効率よく、たくさん勉強した人です。今まで勉強をさぼっていたなら、ほかの人より効率よく勉強すればいいのです。受験が終わった時、皆さんが笑顔になれることを願ってこの合格体験記を終わります。

白田英貴 一般

❶ 筑波大学の入試問題は、基本的な問題が多めだが、単なる公式暗記では解けず、本質的な部分まで理解している必要があるという印象だった。そのため、特に物理などは教科書から、どうしてその公式が成り立つのか、その公式はどのような意味を持つのかまで理解してから、基本的な問題から解いていった。数学は、模試などを受けて出てきた苦手分野などを基本的な部分から確認し、ある程度抜けているところがなくなってきたら、過去問を解いて、高校の先生に添削してもらっていた。



❷ 自分が1番モチベーションを維持するのに苦労した時期は、センターが終わりひと段落した後だった。それまでは、やらなければいけない教科も多く、比較的社会科目などで息抜きになったりしていたので、モチベーションを保つことはそう難しくなかった。2次試験では英語と物理化学、数学の4科目と科目が減り、特に数学の配点が高かったため、数学を中心にやる必要がありました。しかし、センター試験まで数学にあまり触れていなかったため、できなくなっている部分も多く、それをできるようにする段階から勉強をしていったので、益々モチベーションを下げる要因になったと思う。モチベーションが上がらない時は、休憩中などに勉強を頑張っている友達と話したり、相談したり逆に相談されたりすると自分も勉強を頑張ろうと思うことができた。

❸ 自分は部活が10月下旬まであり、しっかりと受験勉強を始めたのは11月からであったが、それでも最後の方は辛く、「自分は絶対受かる」と思って勉強していても、どこかで「自分は本当に受かるのだろうか」と帰り道に不安になる時が多くあった。今から受験勉強をしている人は尚更最後の方にきつくなってくると思う。どうしても勉強にやる気が出なかったり、不安になったりした時は、自分はどのようにその大学を目指しているのかを考えると良いと思う。何もかも目的がはっきりした状態でやるか曖昧なままやるかでは身の入り方が全く違うと思う。「自分はここでこれがしたいからこの大学を目指す」としっかりと決めた方がいいと思う。また、経験則になるが、周りからみて受かりそうな雰囲気が出ている人は大体受かっている。それは日頃の勉強している姿勢だったり、自信があったりなど、色々な要因があると思うが、とにかく、雰囲気からも合格に向かっていけるといいと思う。

小林萌愛 一般

❶ 高校1・2年では吹奏楽部での活動に打ち込み、遠距離通学だったこともあって、普段は授業の予習や課題もままならないほど、勉強の時間は取れていませんでした。そのため、隙間時間をいかに有効活用するかを常に意識し、早弁をして昼休みに図書室で勉強したり、通学時間に単語を覚えたりしていました。隙間時間は何をやるか考えているうちに終わってしまうので、どの時間に何をするか決めてルーティーンにするのがおすすめです。高3になってからは、英語と国語は得意だったので、物化数を中心に基礎の基礎から記述対策をして、12月に入ってから本格的にセンター対策を始めました。同じ問題集を何周もして、解法をくまなく覚えるようにするのが良いと思います。私は数学が好きでしたが大の苦手で、高3の10月の最後の記述模試でも3割程度しかとれず、全国平均を下回っていました。配点の高い数学ができなかったので、判定はEで、青チャートや一対一対応大学への数学を使って、センターが終わってからの1カ月で数Ⅲを1からやり直し、数学の過去問は10年分くらい解きました。物化は、過去問を中心に、忘れない程度にやっていました。



❷ 好きだったからこそ1カ月の数学漬けにも耐えられたのであり、数学が苦手だからといって志望学部を変えなくて良かったと思っています。家にいるとだらけてしまったり、すぐに寝てしまうので、朝から夜遅くまで、学校や学習センターなど、周りもみんな勉強している環境に身を置いて勉強していました。休み時間も教室にしていると話しくなってしまう時は、空き教室や図書館に移動して勉強しました。ご飯を食べる時だけは、友達としゃべって笑いあったり、励まし合ったりして、いつも元気をもらっていました。

❸ 最後まで諦めず、自分の志を貫いてください。自分の力を信じてください。本番の問題と模試の問題は、形式も難易度も違うので、当てにならない判定に左右されて志望校を変えるのは勿体ないです。今はつらいかもしれませんが、長い人生から考えれば、ほんの一瞬です。自身を持って、やりきったと言えるような、悔いのない受験勉強をしてください。頑張ってください。本当に応援しています。皆さんの御入学を、心よりお待ちしております。

物理学類

相羽憧也 推薦

❶ 私は公募推薦で筑波大学の物理学類に合格しました。私が受験勉強を始めたのは部活の引退が終わる六月中旬頃でした。公募推薦は11月初旬頃に試験で、明らかに勉強を始める時期が遅いと感じたので計画的にやらなければ合格はできないと考えました。私はとても飽きやすい性格上長続きしないタイプですが、受験では継続的に勉強をしていかなければなりません。そこで放課後から学校が閉まる7時まで勉強し家では30分だけ暗記の時間を設けて、1回1回の勉強を長い時間やるのでなく短い時間集中し、息抜きの時間を必ず毎日確保して飽きないように勉強しました。基本的に理系科目はひたすらに問題の演習を行い分からないところがあれば学校の先生に聞くということを続けました。その他の暗記メインの科目については時間をかけず、通学時の電車内や授業の合間のすきま時間に参考書や単語帳を読んで勉強しました。また、基礎固めを十分に行わなければ勉強をする上でどこかの場面で学力が伸び悩むと考えたので、9月の終わりまで基礎固めを十分に行い、その後の期間は過去問などのより実践的な演習を中心に行いました。



❷ しかしこのように飽きないような勉強のルーティーンを作ったところでモチベーションが下がるときはもちろん存在し、勉強に身が入らないことがありました。私は基本的に学校で勉強しており、もちろん周りにも同様に勉強している友達がいいます。ときには同じ問題を一緒に解いたり互いの得意科目を教え合うことや友達の頑張っている姿を見ることで自分も頑張らなければいけないという気分になり、モチベーションを保っていました。

❸ これから勉強を始める人や既に受験勉強を始めている人もいると思います。私は上記のように勉強して無事合格しましたが、もちろんこのように勉強したとしても万人が受かるわけではなく、勉強だけをしていればいいというわけではないと思います。受験生にとって本当に大切なのは、1つ1つの選択を自分で考え納得した上で決めていくことだと思います。例えば、志望校をどこにするか、塾に入るか入らないか、さらには浪人するかしないかなどたくさんの選択があります。その時々で親や先生の意見を耳にしたいと思います。しかし、単にその意見を鵜呑みにするのではなく、十分に話し合った上で自分自身で吟味し決めることで、その結果の良し悪しに関わらず後悔のないものとなるはずで。皆さんが自分の納得した進路になるように心よりお祈りしています。

忍田真 推薦

❶ 私が受験に向けてどのように勉強していたかについて説明します。高校1年生の時点では大学受験についてほとんど意識していなかったため、とにかく学校の授業と試験勉強をしていましたが他に部活以外何もやっていませんでした。2年生からは英語の外部の試験を受けたり、模試を活用して主に苦手な分野の復習と対策をしていました。3年生になる前に勉強する習慣を身に着けることができたのでスムーズに受験生になって勉強に打ち込むことができました。隙間時間を有効に活用したり決まった時間に集中することを日課にし、勉強する場所と趣味、遊びの場所を自分の中で区切りをつけてやっていました。さらに具体的に言えば1, 2年で知識の穴を埋め3年で発展、総合的な問題に取り組み、夏以降は志望校の過去問を解き、自分で理解できなかったり行きづまったりしたときは友達や先生に聞いたりしながら進めていきました。

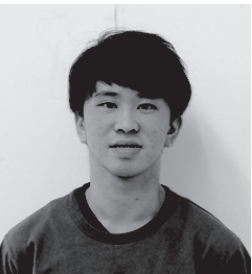
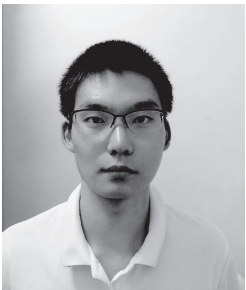
❷ 勉強し続けるにあたってモチベーションを維持することは非常に大切です。1, 2年生の時に大学を時間をかけて調べ、実際に見に行きどのようなところなのか具体的に知る機会があったため、私自身その時やってみたいと思ったことを見つけ、目的をはっきりさせることができたので勉強をしている理由を見失わないことができた後になって思います。私の場合、自宅では区切りがつけにくいので学校の図書館に行ったり市民図書館に行ったり周りに学習している人がいる状況で気持ちが勉強する方向に向くように自らその環境に行ってモチベーションと意識を維持していました。

❸ 私から受験生に向けて伝えたいことは、大学だけでなくこれから先も含めて、今やっている経験は必要になってくる時が来ると思います。大学受験の勉強は使っていく知識のほんの一部にすぎません(必ず使います)。今やっていることを目標を見つけ、考え、夢中になって懸命に打ち込むことで、自然に自分の道が見えてくると思います。また時間はたくさんあるようで非常に短いです。柔軟な思考と、まだ多くのことを吸収できる頭がある今の時期を何もせずに過ごすしてしまうのか、より多くの知識を増やしていくのか、全ては本人次第です。この時期が終わってしまうと基礎的な内容を猛勉強する機会はあまり多くありませんし、飲み込みも遅くなってきます。ですから得られることには一生懸命打ち込んでください。応援しています。

菊池由良 一般

❶ 僕は高校3年間、サッカー部に所属していました。1, 2年の頃は勉強よりも部活部活部活!って感じで生活の中心は部活動であり、正直に言うと全然勉強しない日もあったし、毎回テスト直前に慌てて詰め込もうとして結局、全然間に合わない、なんてことの繰り返しでした。3年になってすぐ、周りの友達が続々と受験勉強を始め出す中、僕はなんとなく部活が終わってからで間に合うだろうと考え、僕が本格的に受験勉強を始めたのは3年7月の中旬です。焦りは一応あったので、夏休みからは僕なりにかなり本気で勉強し、この時期の勉強量ではそう簡単には人に負けない自信があります。しかし、そんなに勉強したにもかかわらず、僕は夏休み明けのテストが1番ひどい成績でした。この時は、たくさん勉強したつもりなのに結果が出なかったという事実や、センター試験まであと4か月しかないという焦りで、本当にきつかったです。ただ、この時期に思うような結果が出なかったのは今考えると当たり前のことで、ほかの人が本気で勉強している3年初めにそれほど勉強しなかったが故です。そこからとにかく死に物狂いで勉強し、センター試験でなんとか目標点にのせ、2次試験もセンター試験が終わってから初めて傾向を詰め込み、なんとか合格できました。

❷ ここで僕が思うことがあります。それは受験のための詰め込み型の勉強についてです。僕は完全にこのタイプであり、実際、僕の周りにもこのタイプの人は少なからずいたと思います。確かに、このやり方でも勉強の量と質によっては合格することはできると思います。ただ、当たり前のことですが、このやり方で3年間コツコツと努力を続けてきた人に勝てるはずがありません。3年間頑張ってきた人が受験期に余裕をもって自分の勉強をする横で、受験だけのための間に合わせの勉強をするのは精神的にもきついですし、モチベーションは極めて上がりづらいです。僕が言いたいのは、日ごろからコツコツとやると



いうことは、思っている以上に大きな力がつくということです。「ほんのちょっと」の積み重ねが大事な場面で自分を助けてくれます。ちょっとでもいいから勉強する習慣を早いうちから身に着けてください。

❸ 先に書いたように、ぎりぎりでもまだ間に合うことも十分にあります。大切なのは受験当日まで絶対に諦めないことです。皆様の良い結果を心から祈っています。

戸野雄介 一般

❶ 私の合格体験記の対象は「何から勉強したらいいかわからない人」です。実際に私もぼんやりと勉強していたせいで本番では危ない橋を渡ることになり、試験を終えてから学習計画について考えさせられました。そこで私自身の経験からいつ頃に何をすべきかをまとめたいと思います。まず私の失敗を1つ。私は3年生になってからもほとんど家庭学習をせず、2次試験対策の問題集を本格的に解き始めたのはセンター後でした。そこで、志望校の出題傾向に合わせた単元を集中的に解いて他は飛ばしていました。しかし試験当日、1番自信のあった物理で直前に強化した単元がほとんど出ず、解けたはずの問題もあせて落としてしまいました。逆にやっておいてよかったこともいくつかあります。1つめは英語を早い段階である程度仕上げておいたことです。英語はほとんどの基本事項が1年生の段階で終わるのでたくさん演習ができて、しかも安定した得点源になるおいしい教科です。特に理系だと本番直前に英語に時間を割きたくないの、苦手な人は簡単なものからでもとにかくたくさん文章を読んで早めに対策しておきましょう。個人的におすすめなのは洋楽のLyric Videoです。曲と同じスピードで歌詞を読むことで速読力が鍛えられ、同時にヒアリング能力の向上も望めます。ライティングは凝った文を書くより簡素で分かりやすい文をいかに論理的につなげられるかです。接続詞と副詞をどんどん覚えて使いましょう。2つめのよかったことは授業をちゃんと聞いていたことです。そのおかげで演習を始めたのが遅くてもそれなりに追いつくことができました。授業レベルの内容をある程度使いこなせれば間違いの原因もすぐに理解できて演習がサクサク進みます。逆にできないといちいち教科書や参考書を見直す必要があって周回遅れになってしまいます。加えて、えり好みせずにどんな場面でも学びを得ようとする姿勢は受験を超えて役立ちます。どうせ勉強するのなら、受験に使うためだけの無機質な知ではなくいろんな学びを吸収してしなやかで有機的な知を身につけましょう。以上のことをまとめると、授業があるうちは授業を優先しつつ夏の終わりくらいまでには英語の苦手を極力なくしておくこと。センター演習が始まるまでに2次試験レベルの問題集を少なくとも1周しセンター後は志望校の出題傾向に合わせて分野を絞った勉強をすることです。センターに関しては授業で演習させてもらえると思うので、それまでに基礎を固めておけばあまり心配はありません。

❸ 最後になりますが、本番の試験が終わるまで手遅れということはありません。逆に試験が終わってからいくら勉強しても点数はもう変わりません。3月の自分が後悔しないように時間を使ってください。そのためにこの体験記が役立てば幸いです。皆さんが胸をはって筑波大学に入学できるよう祈っています。

長瀬麗央 一般

❶ まずスマートフォンを親に預けて使えないようにしました。私はゲーム依存だったので、スマホが近くにあると、ゲームのことばかり考えてしまい勉強に集中できませんでした。ゲームとうまく付き合っていけば良いと思っていると、すぐにゲームにのめり込んでしまいます。だからゲームが原因で勉強ができない場合は、ゲームを完全に封印してしまうことを勧めます。別にゲームとの付き合い方は大学に行ってからでもできますから、受験中に力を入れるべきことではないと思います。私が浪人中にやった勉強法は基本的に予備校のテキストをやって、わからないところは教科書の例題や問題を解いて理解しました。夏休みからは模試などの見直しをしました。秋から



はセンター試験の本試験を説いて見直しをしました。大事だと思うのは、テストは面倒くさくてもしっかりとわからないところを明らかにしてそこを理解すること、1つ1つの知識を丁寧に覚えて何度も解くことです。

② 1つ目は物事を覚えるやり方を身に付けようと思って、勉強に様々な工夫をして、できるだけ苦しくなくしっかりと覚えられるような方法を探りました。ゲームで探索をしているような気分になり苦しさが減ります。ただ、正しい方法はただ1つだけで、メンタリストDAIGOの勉強法の本に載っているのでやってみてください。受け身で学習するより、積極的に自分で色々決めて学習したほうが苦しみは少ないです。2つ目は実際に志望校のホームページを見たり、大学に行って大学の雰囲気を感じ取ったりして、この大学に行きたいと言う気持ちを強くすることです。

③ 私は2浪したのですが、現役生のときは非常に甘い考えを持っていて、浪人したら受かるだろうと思っていました。浪人しても結局スマホばかりいじって、勉強ができませんでした。だからスマホが原因で勉強に集中できない場合は、家にスマホを置いて図書館で勉強するか、スマホを没収してもらったほうが良いと思います。ただし、それらの行動は自分で考えて納得した上で自分から行ってください。自分で選んだかどうかは本当に大事です。最後に、現役だろうが浪人だろうがどの予備校行こうがやるべきことをした人はしっかりと受かります。だからしっかりと勉強をして自分の行きたい大学へ行きましょう。

化学類

韓 叡 佳 推 薦

① 私は受験勉強を始めたのが高校2年生の3学期からで、推薦入試を受けると決めたのが高校3年生の7月でした。それまでは一般入試の勉強のみをして、推薦試験を受けると決めてからも11月まではほとんど幅広い教科を勉強していました。ですが、その中でもきちんと志望理由書を考える時間は惜しみなくつくりました。推薦試験対策に関しては、夏休みに1度過去問を解いて自分とのレベルの差を確かめ、11月に入ってから問題形式の確認や足りないところの補強をしました。私は特に小論文で大事な化学の勉強に時間を割きました。さらに、化学に関する細かい知識や最新のニュースなどにも目を通しました。本番は小論文が1日目にあり、2日目に面接試験があります。面接試験対策は高校の先生に手伝ってもらい、自分の意見や考えが言えるようにしました。また、推薦試験が終わったあとも、合格発表までは筑波大学の一般入試対策に完全に切り替えました。

② 受験生時代は、モチベーションを上げるために合格した後にしたいことや、入学した後に大学でやってみたいことなどを考えたり書き出したりしていました。また、高校3年生の11月には実際に筑波大学の雙峰祭に出向き、実際にキャンパスを歩いてみたり、先輩方の雰囲気を感じたりしにいきました。雙峰祭には、受験や学校生活のことについて先輩と話すことができるブースもあり、夏休みの大学説明会に行けなかった私にとっていろいろ聞けたり、息抜きにもなったりしてとてもよかったです。また、化学が好きだったので、図書館に行って化学雑誌を読んだりもしていました。

③ 受験は自分との闘いになると思います。努力を惜しまず、本気で頑張り続ければ必ず目標を達成することができます。それでも、どうしても周りと比べてしまうことがあったり、思うようにいかず落ち込んだりするときもあるかもしれませんが、そんな時こそなりたい自分を思い出してもうひと頑張りしてみたり、思い切って休憩してみたりしてください。自分が納得するように頑張れば、自分自身に自信がつき、きっといい結果が生まれると思います。がんばってください。



廣 田 小 太 郎 推 薦

① 私は推薦入試を受験するにあたって、資料集と「化学の新研究」を読みつつ「化学の新演習」を解いていました。反応の理論に目を通した上で資料集によって実験の様子を確認することで、より深く内容を理解することができました。問題を解くにあたっては、様々なパターンの問題を解くことで対応力を身に付けることができたと思います。

② 受験に対するモチベーションについてですが、化学は私の最も好きな教科であったため、楽しみながら資料集を見たり問題を解いたりしていました。ですから、「大学では自分の好きなことに向かって、より専門的に学ぶことができる」、「大学では大好きな実験ができる」などと常々考えることでモチベーションを維持していました。そして、時には勉強の合間に息抜きを入れたほうが効率は良くなると思います。

③ 大学は高校までと違い、自分がどの講義をとるかは個人の自由です。自分の好きな分野、興味のある分野、その関連分野について好きなだけ学ぶことができます。私は研究者になりたいと思い、筑波大学に入ったため、好きなことを学ぶことができるという大学生活はとても楽しいです。皆さんも、小さなものでもいいですから夢や目標を持っておくと、それを実現するために高校でも大学でも頑張れるのではないかと思います。受験を乗り越えて、ぜひ筑波大学で学びましょう。



小 川 知 里 一 般

① 私は大学入試に向けて高校の授業の予習と復習を基本として勉強していました。具体的に、英語は予習として授業で扱う長文の問題を解き、復習として予習にかけた時間の半分の時間で同じ問題を解くということをしていました。また、登下校の電車の中で単語や熟語の勉強をしていました。3年生になって長文読解や英作文に多くの時間をかけられるので、1・2年生のうちに単語や熟語をできるだけ多くためておくことをお勧めします。そして、英語は大学によって出題する問題の傾向が全然違うので、早めに自分の志望校の過去問を見て対策することをお勧めします。数学は3年生の授業が問題演習の解説だったので、予習として授業で扱う問題を解き、復習として予習でできなかった問題をもう1度自分で解くというようにして勉強しました。「大学への数学」という問題集の数学IA・IIBと数学IIIを利用していたので、それぞれ1冊ずつを繰り返し解きました。基礎ができればあとは応用するだけなので、夏休みまでは基礎固めを重視していました。化学と物理は「重要問題集」という問題集を繰り返し解きました。苦手な分野は1度「リードα」という問題集に戻って解いてから重要問題集を解きました。どの科目も基礎はとても重要なので、しっかりと固めたほうがいいです。そうすれば、応用することができるようになるので、過去問などに手が付けやすくなります。

② モチベーションを保つために、私は基本的に学校の自習室で勉強していました。友達と一緒に行っていたので、昼食をとるときや帰り道に話すことが唯一といってもいいくらいの楽しみでした。この時間が私にとってとてもいい息抜きになりました。そのおかげで、受験期に病むことなく、友達が勉強頑張っているから自分も頑張ろう、とモチベーションを維持することができました。また、分からない問題があってもすぐに先生に聞きに行くことができました。不安なことがあったとしても友達や先生にすぐに相談することができるので、学校の自習室で勉強することはお勧めです。

③ 受験期はいくら勉強したとしても不安でいっぱいだと思います。私も実際そうでした。それでも私は友達と一緒に勉強して最後まで頑張り続けることができました。皆さんも最後の最後まで諦めずに努力し続けてほしいと思います。けれども、自分を追い込みすぎると勉強しても身につかないと思うので、息抜きも上手にしながら勉強してください。筑波大学でお会いできることを楽しみにしております。受験生の皆さんのことを応援しています。



吉武輝 一般

❶ 志望校を筑波に決めたのが高2の冬頃なので、そこからの流れを書きます。

高2冬～高3夏 学校の進度があまり早くなく、この時点では数Ⅲや専門の理科に少ししか触れていなかったため、基本的には数ⅠAⅡBと物理基礎、化学基礎の基礎固めをやっていました。また、6月に文化祭があったため平均的な勉強時間はそんなに多くありませんでした。高3夏休み前までに学校で習った微分積分や力学、理論化学を主に演習しました。英語に関しては謎の自信があり、あまり勉強しませんでした。理科の先取りもほとんどしませんでした。

高3秋 数学や理科の内容が1通り終わり、新たに習ったことを定着させることで精一杯でした。この頃も英語はあまり勉強していませんでした。

高3冬(センター前) 12月頃から本格的にセンター対策を始めました。毎日3～4科目の過去問やセンター対策用問題集をやり、点数を全て記録していました。特に苦手だった国語は毎日行いました。

高3冬(センター後) 私立の過去問をやりつつ、毎日筑波大学の過去問をやりました。物理、化学は問題数が多いので解く問題と解かない問題の選別を意識し、配点の多い数学は過去10年分の問題を全て完璧に解けるように繰り返しました。英語は長文が苦にならない程度にやっていました。

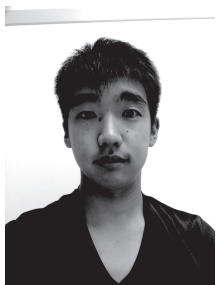
❷ やる気が無くなったときにはノートの余白に「筑波大学理工学群化学類」と書いて自分を奮い立たせていました。また、不合格になった姿を想像して危機感を無理矢理募らせたりもしました。それでもどうしてもやる気が出ないときは思い切って寝ました。アラームをかけて15分くらい寝ると頭がリセットされた感じがして、その後とても集中することができました。(ただし寝過ぎは良くないですよ!)

❸ まず勉強面で伝えたいのは、「単語は早めに覚える」ということです。僕は英単語も古文単語も「まあ何とかかなるでしょ」と思って全く覚えようとせず、結果として直前期に必死に詰め込むことになりました。単語がわからないと文章も読めないのので過去問も解けず、非常に効率の悪い時間の使い方になってしまいます。次に勉強面以外で伝えたいのは、体調管理の重要性です。いくら勉強を頑張っても試験当日に体調を崩しては意味がありません。たかが手洗いうがい、されど手洗いうがいです。実際、僕は12月頃からしつこいくらい手洗いうがいをし、その結果国立2次試験まで一切風邪をひきませんでした。長々と読んで頂きありがとうございました。皆さんが良い結果を出せることを願っています。



清水壮太 一般

❶ 私は応用問題や大学の過去問をひたすら解くのではなく、基礎を徹底してやりました。ある程度基礎が固まってきたら応用問題・過去問を解くことも大切ですが、あくまで基礎が固まってからだと思います。基礎が固まってないのに過去問を解いて得られるものはかなり少ないと思います。基礎と言っても何をしたかという、特に私が意識したのが物理ですが、私は何冊かある問題集のうち1番簡単な問題集の、基本問題だけを集中して解きました。基本問題で公式や原理を理解した後、志望校の過去問でよく出る分野を中心に応用問題に取り組みました。逆に、基礎がある程度固まっていたり、得意教科だったりする場合はどんどん過去問や応用問題を解いて、問題に慣れるべきだと思います。「わかりきっている内容」を増やしておけば様々な問題に対応できるようになるはずです。そのような教科は貴重な得点源となるため、志望校の過去問のみに留まらず、似たレベルの大学の入試問題なども解いてみるといいと思います。私の得意教科は数学ですが、3年生で本格的に受験勉強に入る前に基本問題は1通り終わっていたので、本格的に受験勉強を始める際には一切基本問題はやらずに、問題集の応用問題や大学の過去問、さらには学校の先生に苦手な単元の問題だけ集めてもらって経験を積みました。



❷ 私が意識したのは、「〇〇が終わったら～する」ということの徹底でした。あまり良い例ではないとおもいますが、私は、「1単元終わったらゲームを1時間やる」というのを実践していました。ただ、ゲーム目的に早く終わらせては意味がないので、最後にその単元の確認テストのようなものを解いて、完答できるまではゲームには入らないようにしました。逆に、食後の休憩時間のように、他の時間では一切やらなかったので、ゲームをモチベーション維持のための道具にして続けられました。他にモチベーションを保つ手段として、自宅で勉強しないで学校、塾、図書館などで勉強をしていました。自宅で勉強できる人なら問題ありませんが、自分は勉強開始までにだらけてしまったり、昼寝を長くとってしまったりとあまり長時間集中が続かず勉強できないため、少しでも気を引き締めるため自分の家以外でやりました。特に学校は友達と会うこともでき、かなりの心の支えになりました。

❸ 最後に高校受験と違って大学受験は範囲、難易度もだいぶ違って大変だとおもいますが、努力すればきっと成果を掴み取れるはずです。最後まで諦めないで頑張ってくださいと思います。

| 学生生活編

現役学生に聞いてみました



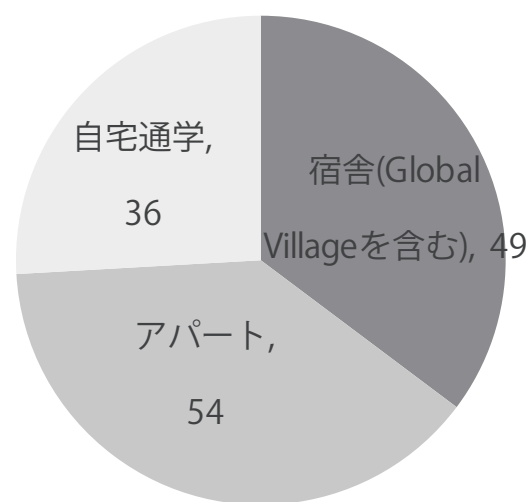
現役学生の新入生(1年生)と上級生(2・3年生)にアンケートを取ってみました。学生の声をお聞きください。

回答数

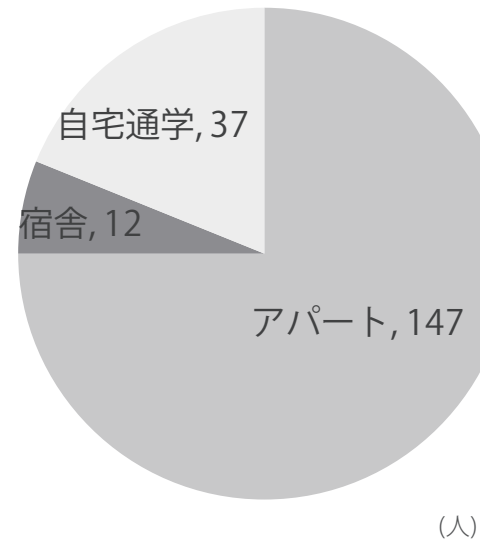
	1年	2年	3年	計
数学類	40	17	30	87
物理学類	54	44	34	132
化学類	45	33	38	116
計	139	94	102	335

住居について

新入生



上級生

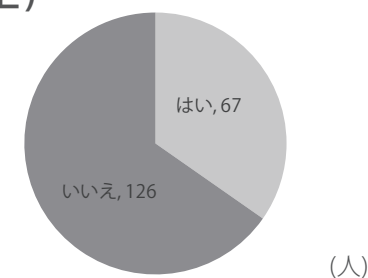


宿舎

選んだ理由

- ・大学が近いから ・実家が遠いから。
- ・アパートに比べ安いから。 ・共同生活したかったから。
- ・友達ができと思ったから。 ・一人暮らししたかったから。
- ・楽だから。 ・便利だから。 ・安全だから。
- ・合格から宿舎入居メ切が短く、アパートと比較して選ぶ時間が無かったから。
- ・一人暮らしが初めてなので様子見で。
- ・大学入学した頃はつくばの地理について詳しくなくなれてからアパートに引越したいと思ったから。

過去に宿舎に住んでいたか(上級生)

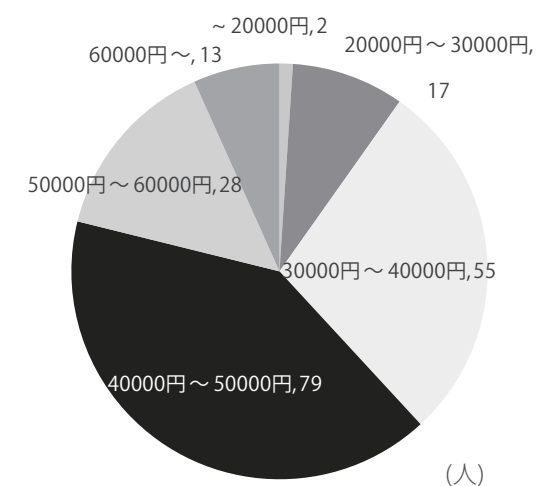


アパート

選んだ理由

- ・宿舎は嫌だから。 ・実家が遠いから。 ・大学に近いから。
- ・一人暮らしがしかったから。 ・宿舎に比べ広いから。
- ・便利だから。 ・自由だから。
- ・たまにつくばに親が遊びに来るから。
- ・1年でアパートに住んでいれば2年での住居探しがしなくてすむから。
- ・自炊するから。
- ・健康を考慮した結果アパートがいいとなったから。
- ・宿舎は1年後には出ないといけなくなるから。
- ・綺麗で治安のいいところに住みたかったから。 ・憧れていたから。
- ・自宅は遠く、宿舎は4年間つづけて住めないと考えたから。
- ・部活の関係。 ・みんながそうだから。 ・楽しいから。
- ・実家にいたくないから。
- ・宿舎には友達を呼べなかったから。

家賃

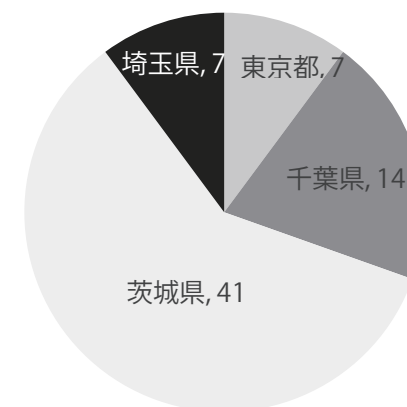


自宅通学

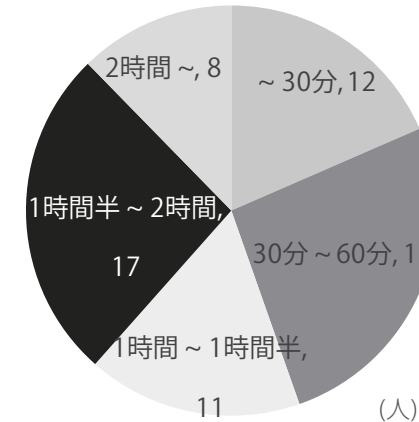
選んだ理由

- ・家の経済的事情。
- ・通える距離に実家があるから。
- ・アパートよりも安く済むから。
- ・親が一人暮らしを許可しないから。
- ・家族と住んだ方が楽だから。
- ・実家を出たくなかったから。
- ・一人暮らしをするのは心配だったから。
- ・新生活に慣れるまで宿舎、アパートはやめた方が良かった。
- ・車で通えるから。
- ・つくばが田舎すぎて住みたくないから。
- ・一人暮らしをすると死んでしまうから。
- ・宿舎は狭いし、アパートは高いから。

どこから

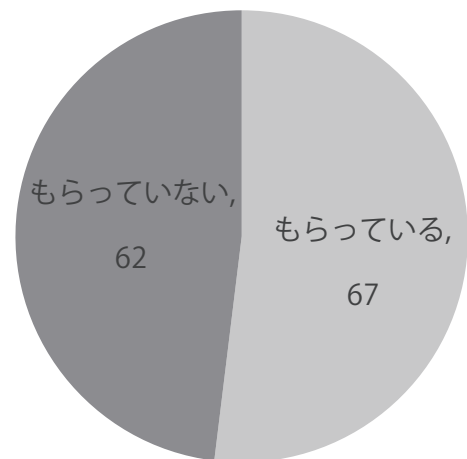


通学時間

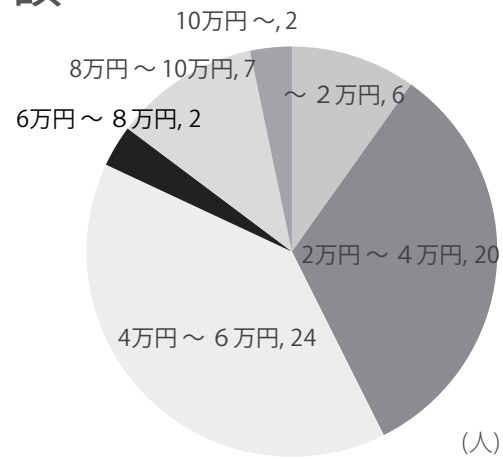


大学生活について

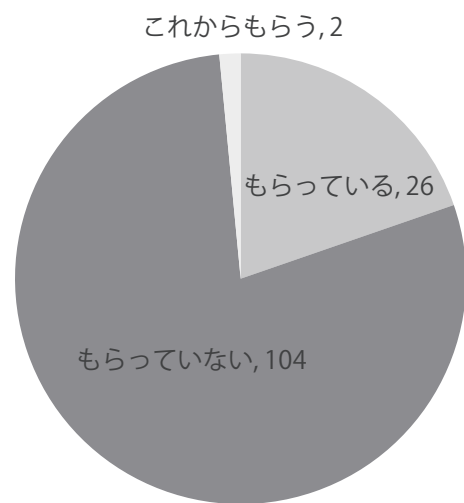
仕送り



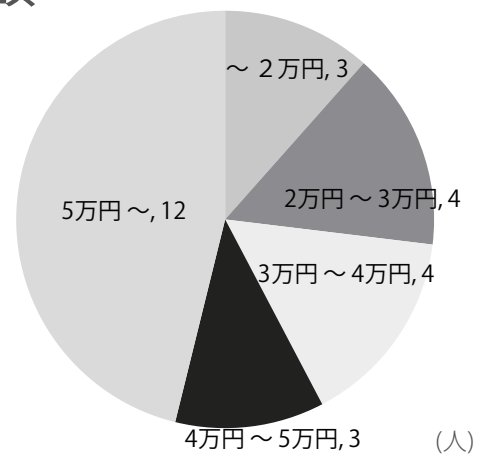
金額



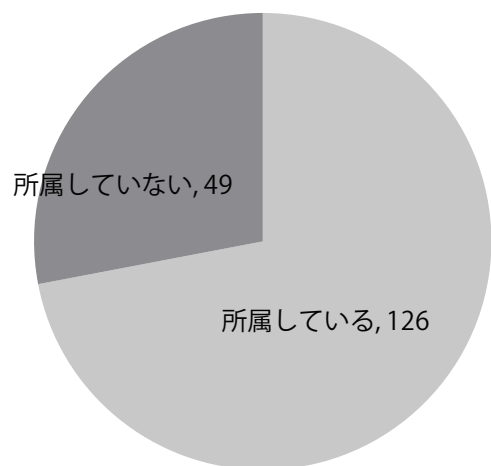
奨学金



金額



サークル



体育会

- ・鹿島神流武道部 ・サイクリング部 ・ソフトボール部 ・硬式庭球部
- ・バスケットボール部 ・バトミントン同好会 ・医学ソフトテニス部
- ・医学弓道 ・医学水泳部 ・フェアリースキークラブ ・剣道同好会
- ・ラグビー部 ・卓球部 ・バスケットボール同好会 ・軟式野球部
- ・陸上競技部 等

文化系サークル連合会

- ・斬桐舞 ・歌留多部 ・囲碁部 ・将棋部 ・天文研究会
- ・現代視学文化研究会 ・社会福祉研究会 ・筑波大学電気通信研究会
- ・マジシャンズクラブ ・野外活動クラブ 等

芸術系サークル連合会

- ・ときめき太鼓塾 ・ピアノ愛好会 ・つくばフォーク村
- ・合唱団むくどり ・ブロックフレーテ同好会 ・管弦楽団
- ・写真部 ・吹奏楽団 等

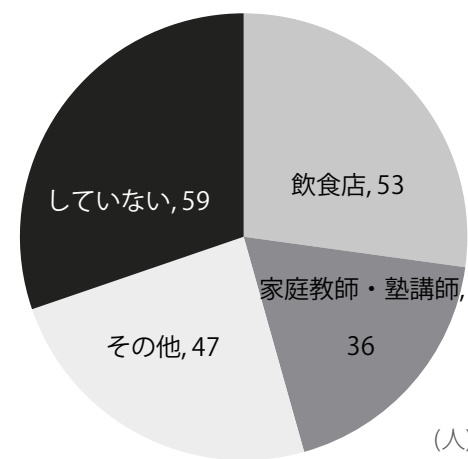
委員会

- ・学園祭実行委員会
- ・全学学類・専門学群代表会議(全代会)
- ・スポーツデー実行委員会 ・福利厚生委員会
- ・OPT(旧自然学類新入生歓迎委員会)
- ・芸術系サークル連合会運営委員会 ・大学説明会委員会
- ・文化系サークル連合会委員会 ・ニュートン祭実行委員会
- ・宿舍祭実行委員会 ・体育会運動委員会
- ・クラス代表者会議 等

一般学生団体

- ・FASTBREAK ・FANCYテニスサークル ・OLODIA・DOWNHILL
- ・FORESTテニスサークル ・REALJAM ・スポーツ愛好会
- ・PICNICテニスサークル ・PURPLUME ・SCOUT ・ULISバトミントン
- ・SPIKERS ・STEP ・FREEEDUCATION ・TEA ・サッカー同好会
- ・TUKUBABASKETCLUB ・WINS ・アイマス研究会
- ・ADVANTテニスサークル ・エフィチェス ・ジャグリング
- ・つくばポケモン多すぎクラブ ・卓球同好会
- ・ジョギング ・軽音サークル
- ・ぷよぷよ ・フットサル支部 ・プログラミング ・農業ヘルパー
- ・ホワイトパンダ ・ボランティアサークルLuz ・弓道同好会
- ・学び場さくら塾 ・NEOPOLIS BIGBAND ・水泳同好会 ・作曲サークル
- ・アカペラサークルDoo-Wap ・DTM ・マリンダイビング
- ・筑波大学宇宙技術プロジェクト ・美術サークル図画団 ・陸上同好会
- ・クイズ研究会 等

アルバイト

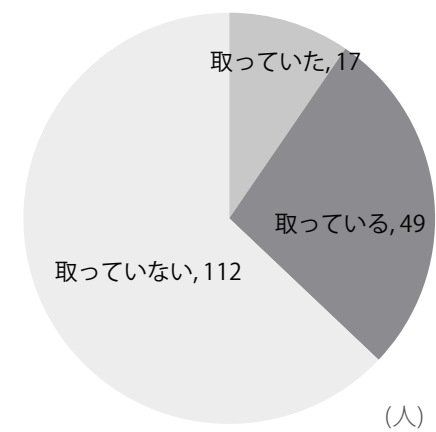


その他の内訳

- ・接客業(コンビニ、スーパーなど) ・派遣(梱包、倉庫など)
- ・結婚式場、宴会場スタッフ ・アパレル ・ディズニーキャスト
- ・イベントスタッフ ・ピアチューター ・採点 ・実験被験者
- ・幼稚園の指導 ・ガソリンスタンド ・テニスコーチ
- ・コールセンター ・データ処理 等

授業について

教職



空きコマ

- ・レポート ・課題 ・帰る ・自習 ・バイト
- ・昼寝 ・図書館へ行く ・何もしていない
- ・ゲーム ・委員会の仕事 ・食事 ・友達とお話
- ・囲碁教室・将棋教室に行く ・位置情報ゲーム
- ・会議 ・YouTube
- ・芝で語りながら四つ葉のクローバーを探す
- ・ネットサーフィン ・お絵かき
- ・サイクリング ・瞑想

入試について

併願校

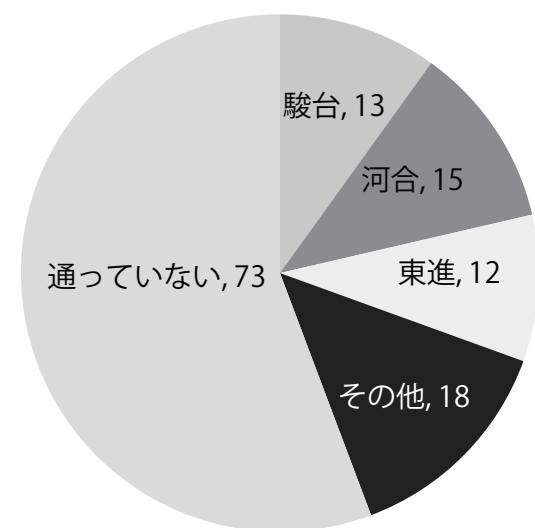
国立大学

・筑波大学 ・山形大学 ・茨城大学 ・大阪府立大学
・岡山大学 ・埼玉大学 ・横浜国立大学 ・電気通信大学
・首都大学東京 ・弘前大学 ・山形大学 ・千葉大学
・新潟大学 ・金沢大学 ・静岡大学 ・信州大学
・名古屋工業大学 ・熊本大学 ・広島大学 ・高麗大学 等

私立大学

・早稲田大学 ・慶応義塾大学 ・上智大学 ・東京理科大学
・学習院大学 ・明治大学 ・青山学院大学 ・立教大学
・中央大学 ・法政大学 ・日本大学 ・東洋大学 ・関西大学
・同志社大学 ・立命館大学 ・芝浦工業大学
・東京農業大学 ・北里大学 ・東邦大学 ・名城大学
・豊田工業大学 ・京都産業大学 ・関東学院大学
・自治医科大学 等

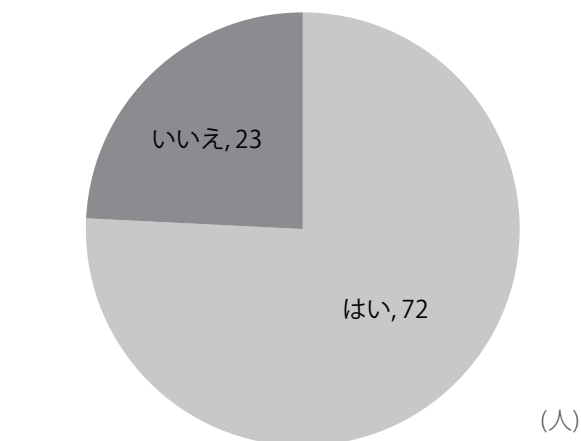
予備校



入試形態

・一般入試 ・推薦入試 ・AC入試
・国際科学オリンピック入試 ・日韓共同理工系留学生入試

現役



その他の内訳

・LSE英会話教室 ・step ・トーマス ・マナビス ・茨進
・久ゼミ ・功德進学塾 ・四ツ谷学院 ・松ゼミアシスト
・城南予備校 ・早稲田塾 ・代々木 ・鳥予備 ・日工塾
・富山育英予備校 ・地元の個人塾 等

入試当日の事件

・腕時計忘れた。 ・寒かった。 ・腹痛。

・提出しない回答用紙にも全て名前や受験番号を記入してしまい、かなりのタイムロスになってしまった。

・物理で対策したところが何も出なかった。 ・スマホを家に忘れた。 ・時計とセンター受験票を忘れた。

・バスでめっちゃくちゃならんだ。 ・電車が止まった。 ・頭痛がひどかった。 ・朝食がおいしくなかった。 ・バスに酔いかけた。

・センターのリスニングの時に誰かのバッグの中の携帯が鳴った。 ・バスが混んでいて、着いた時には先生がいた。

・大学内で迷った。 ・バスが混んでいて遅刻しそうになった。

・回答用紙がレポート用紙のようで文字数を自分で考えなければならない。 ・緊張しすぎて問題配布のとき泣いた。

・数学の解答用紙を間違いかけた。 ・後ろの人が2月25日なのに半袖、半ズボンだったこと。

・バス停を間違えてしまい、1キロくらい走るようになった。 ・周りの人がトイレの場所を確認していたので急いで確認した。

・早く着きすぎて、開場時間を確認しておらず外で1時間待った。 ・お腹をくだした。 ・物理の訂正用紙を見忘れた。

・筆箱を忘れた。 ・朝ドラを最後まで見られなかった。 ・午後になって頭痛が生じた。

・薬を持っていなかった為そのまま続行した。 ・歩きで帰ったら迷った。

・バスの混み具合がすごかった(100メートル以上の列)。

・勉強道具を持っていかなかったら周りが資料集や単語帳を見ていてビビった。 ・解答用紙の使い方を間違えた。

・ホテルの料金が未払いで、その場で6700円支払った。しかも、その前、双子の弟が昼飯代を出していなければ、金が足りなかった。さらに、泊まったビジネスホテルの壁がうすくて、となりのいびきがうるさく、部屋をかえてもらったが睡眠が3時間ほどで、5:30ぐらいに起きてTX乗ってつくばまで行った。頭痛もひどかった。

・会場に女子が少なくて泣いた。 ・回答用紙の回収に30分以上かかった。 ・バスで並んでいるときに化学類の少年と話した。

・試験10分前にお手洗いに行って焦った。 ・女子の人数を数えたら10秒で終わった。 ・しっかり用意したので特になかった。

・試験が長机に2人座る形で行われたが、となりの人がひじを机にごんごん当てるやつで正直迷惑だった。

・前日にホテルのベッドが合わなくて全然寝むれなかった。 ・バスがめっちゃめっちゃ混んでいて、1時間くらい待った。

・前日の夜眠れなかった。 ・試験会場がとても寒かった。 ・試験会場行きのバスのためにかなりの時間並んでいたこと。

・前の人が女子かと思ったらロン毛の男子。 ・休み時間に携帯を爆音で鳴らした。 ・センター試験の英語で眠くなった。

・私大入試で英語の最後のページをめくり忘れた。 ・前期入試は想定より机が狭かった。

・早めに行ったら試験会場へ入れなかった。

・昼休みの時間を目一杯使って昼ごはんを食べたので、試験用紙の配布が始まって焦った。 ・帰りのバスの袋詰め状態。

・tanの加法定理の計算ができなかった。 ・シャープペンシルの消しゴムの部分を後ろの人に飛ばしてしまった。 ・眠かった。

・第三エリアで迷って、バス停を探していたら、大学会館までたどり着いた。 ・途中でトイレに行きたくなった。

・面接で、過呼吸になりかけた。 ・中央線が運転見合わせだった。

・起床からホテルを出るまで、息苦しさ、吐き気、倦怠感などの症状が高まった。 ・筆記試験の日に時計を忘れた。

・天気が良く、空が綺麗だった。 ・朝、コンビニでおにぎりが売り切れで何軒かハシゴをした。

・二次試験当日にセンター試験の受験票を忘れ、試験室に入るのが遅れた。 ・当日にインフルにかかった。

・力学の問題で、全て垂直抗力を反対に考えてしまった。 ・発熱。 ・隕石が落ちてきた。 ・斜め後ろに中学の同級生がいた。

・腹痛。 ・二次試験の理科で解答用紙を間違えた。 ・近くのはテルが満室で遠くのホテルに泊まることになった。

・ペットボトルのキャップを落として隣の人が拾ってくれた。 ・交通渋滞につかまった。

・センターのリスニングの一問目に笑った。 ・解けなかった。 ・物理の試験に原子分野が出なかった。 ・バスが混んでいた。

・入試が終わって安心して帰りの新幹線に乗り遅れて新宿のネカフェで一泊した。

・逆行きのバスに乗ったしそれが混んでいた。 ・時間ギリギリで間に合った。 ・嘔吐。

・家を出て、車の中で時計を忘れたことに気づいたがたまたま父が持っていたので、それを借りた事なきを得た。

筑波大学の1年

4月 入学式

大学会館の講堂にて行われる。毎年、満開の桜と共に1000人を超える新入生が筑波大学に入学する。

新歓祭

新歓とは「新入生歓迎」のこと。新入生を歓迎するべく、毎年多くの学群学類や、サークルなどの学生団体が熱気にあふれたイベントを行う。旧自然学類(数学類・物理学類・化学類・地球学類)の新入生はOPTと呼ばれる委員会が主催する新歓イベントに参加し、カリキュラム講習会などを通して友達をつくる。

5月 GW

今年度はなんと10連休。帰省や旅行、サークルなど学生によってやることは様々。

春季スポーツデー

体育祭の筑波大学バージョン。バスケやソフトテニス、フットサルなどの事前エントリーの種目から当日参加種目まで幅広い種目をおこなう。学類の友達やサークルの先輩などと一緒に参加する人がおおい。

やどかり祭(宿舍祭)

1年生が主体のお祭り。平砂宿舍の周辺で1年生が学類やクラスごとに出店を出す。また、一部の学類によるおみこしやゆかコン嬢のパフォーマンス等も魅力の一つである。

6月

7月

8月

期末試験

待ちに待った期末試験。6割のハードルを越えるためにぎりぎりまで戦いを挑むものから、9割を越えるという高層ビルのような志を持っている人まで、学生によってハードルは異なるがこの1週間だけは皆本気で勉強する。教授はその頑張りをDからA、A+の5段階で評価する。

夏休み

大学生の夏休みは長い。8月の上旬にテストが終わり、10月の最初の授業までは授業はない。免許合宿に行く人や、バイトに命を懸ける人、遊びに全力をそそぐ人や、サークルに没頭する人もいる。教職を取っている人はもちろん集中授業がある。

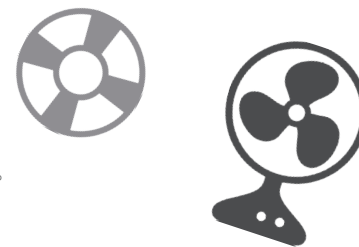


9月

10月

11月

秋学期始まる。



学園祭

大学のイベントで最も規模の大きいお祭り。その名も雙峰祭。北は第三エリアから南は体芸エリアまで広く出店が立ち並ぶ。ステージでのパフォーマンスや、後夜祭での花火等、思い出に残る学園祭となっている。

秋季スポーツデー

春季とはまた違った種目が楽しめるスポーツデー。駅伝等の種目がある。

12月

冬休み

何と冬休みは思ったよりも短い。今年はGWの方が長かった。年末年始を越える長期休暇なので帰省する人も多い。

1月

2月

期末試験

その年度を締めくくるテスト週間。だんだん勉強が難しくなっていき、各地から毎日夜遅くに悲鳴が聞こえる。これもまた、教授がDからA、A+の5段階で評価する。

春休み

4月初頭まで、1ヶ月半ほどの休み。

3月

追いコン

卒業生をサークルから追い出すイベント。結構、感動する。中には泣き出す人も。

卒業式

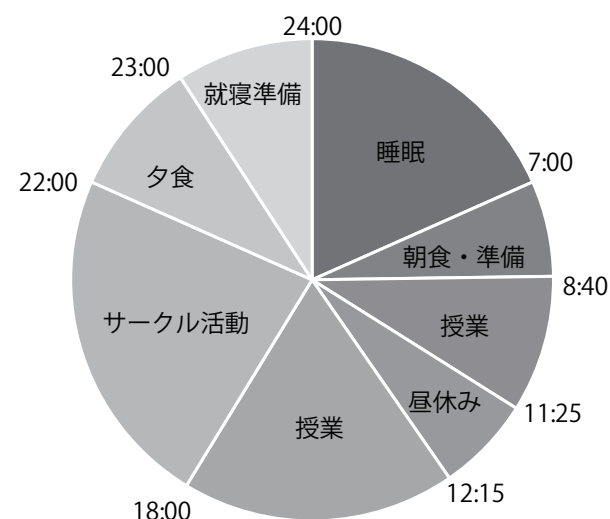
大学会館講堂にて行われる。卒業生の晴れ着姿を見るために多くの現役生が出迎えをおこなう。



大学生の一日

宿舎民の一日

サークルのある日



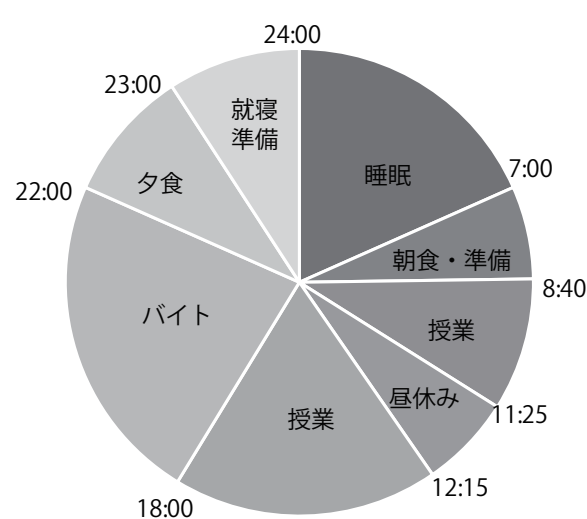
- ・宿舎に住んでいる人は大学に近い分朝はゆっくりできます。
- ・昼食は食堂で食べることが多いですが、前後の授業が開いているときは一度帰って食べることもできます。
- ・空きコマは図書館で自習をしたり、大学の近くのお店に買い物に行ったりして過ごします。
- ・放課後にサークル活動を行います。夕食はサークルで食べることが多いです。

アパート民の一日

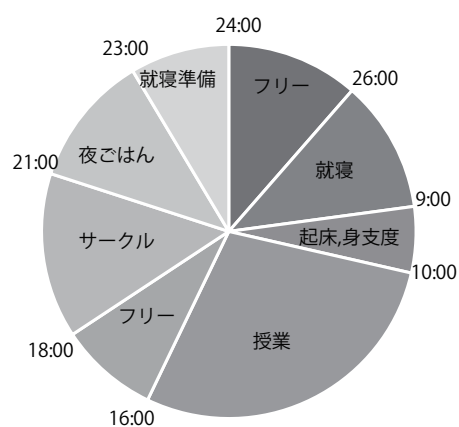
サークルのある日

- ・1限がない日は9時に起きます。大学までは自転車ですぐで帰ります。
- ・お昼は学食や鈴家というパン屋で買ったりします。
- ・空きコマは図書館でみんなでレポートをしたりします。
- ・月・木は18時～21時でサークルがあります。自分の好きなことに没頭することができるので、とても楽しいです！
- ・サークル後はみんなでご飯に行きます。ついつい遅くまで話し込んでしまいます。

バイトのある日



- ・バイトがない日は時間に余裕があるので、勉強や自炊などをして過ごします。
- ・宿舎に住む最大のメリットは、大学に近く自由な時間が多いことです。きちんと計画を立てて有意義な時間を過ごしましょう。
- ・バイトの時間は人によって異なりますが、翌日の授業に支障が出ないように時間を考えましょう。



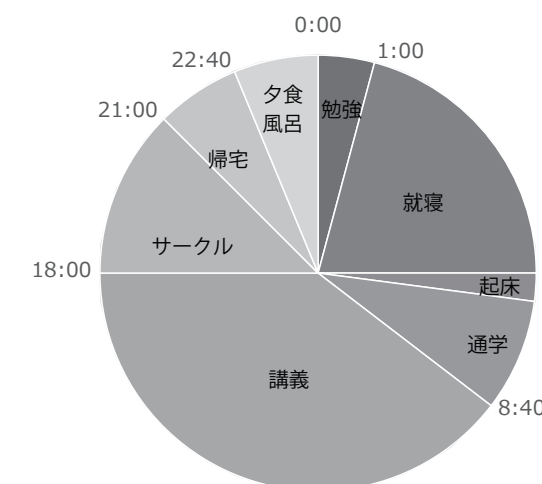
バイトのある日

- ・バイトもサークルもない日は、買い物をしたり、サークルの自主練をしたりします。時間にゆとりがあるので、自炊や部屋の掃除も行います。
- ・一人暮らしは大変なことも多いですが、すぐ家に帰れたり、自由に暮らせるのでとても楽しいです！筑波大生の大半は一人暮らしなので、友だちの家で集まったりもします。つくばは家賃も安く、みんなで助け合って生活できるので、一人暮らしをおすすめします！
- ・フリーの時間は、レポートや課題をしたり、家事をしたりしています。
- ・バイトは塾講師をやっています。社会経験になるので、とても勉強になります。

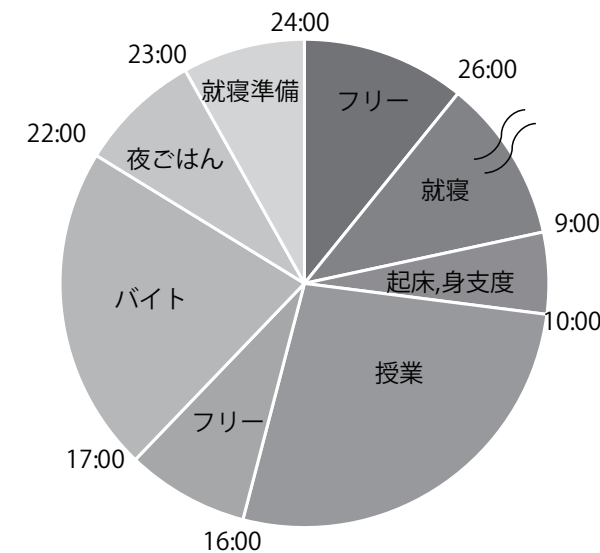
宅通民の一日

※宅通…実家から電車・車等を利用して通学すること。

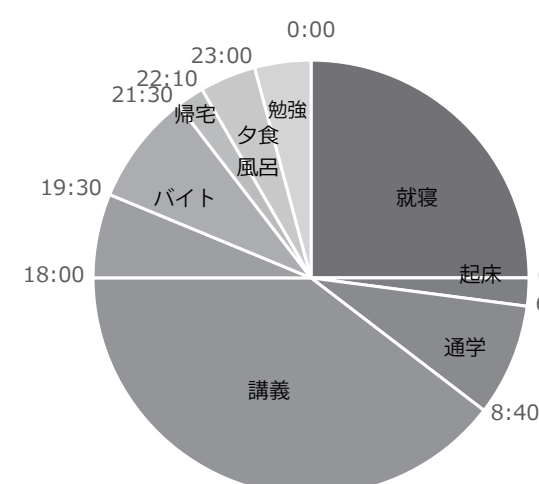
サークルのある日



- ・宅通民の朝は早い！特に1年次は1限から始まる日が多いので、生活習慣に気を付けましょう。
- ・空き時間は図書館や友人のアパートで過ごすことに。夜あまり時間が取れないので課題等はこの時間に終わらせましょう。
- ・サークルによっては夜遅くまで活動しているところも。終バス・終電の時間をしっかり調べておき、乗り遅れの無いようにしましょう。



バイトのある日



- ・サークル・バイトがないときは課題はもちろん、カラオケに行ったり、自転車でKEKやJAXAに行ってみたりと、普段できないことで息抜きできるといいですね
- ・宿舎やアパートに住む人が多数なので心配するかもしれませんが、友達ができない、なんてことはありません。また、休日に住み慣れた実家でゆっくり過ごせるのは宅通の利点だと思います。
- ・バイトはつくばでする人もいれば、地元でする人もいます。また、通学定期券内の駅周辺で塾講師・家庭教師をする人も。無理のない範囲で行いましょう。

大学の施設

筑波大学には、たくさんの施設があります。特に食堂にはそれぞれの特徴があり、面白いのでぜひ探索してみてくださいと思います。全部はとても書けないのでここでは一部を紹介します。

第一エリア

スターバックス…①

言わずも知れた人気スポット。新作が出るたびに人が増える。

鈴家…②,2階

パン屋さん。ミルクパンとヘルシーサルサとチーズメンチがおいしい。と友達が言っていました。

1学食堂…③,1階

おいしくて飯が安く食べられます!日替わりランチがAとBの2種類あるので、飽きずに毎日通う学生もちらほら。棟が新しくなったので、きれいです。

スープファクトリー…④,2階

多国籍なスープがあるレストラン。こちらも改修したばかりなのできれいです。

1A棟…A

食堂や支援室、スープファクトリーなどがある。

1B棟・1C棟…B・C

人文学類や社会学類等がつかう棟。

1D棟・1E棟…D・E

数学類・物理学類・化学類等がつかう棟

1F棟・1G棟…F・G

研究室や実験室などがある棟。

1H棟…H

大きな教室がある。



大学会館エリア

Tools…⑤,1階

文房具屋さん。文房具なら大体そろってる。

書籍部…⑥,2階

本屋さん。教科書や参考書を豊富にそろえていて、学期はじめに特にぎわう。

丸善…⑦,1階

コンビニ。パンやおにぎりなど豊富にある。割引があるので他のコンビニより少し安い。

筑波デミ…⑧

会館にあるレストラン。なかなかいいかい。パーティで使ったり雙峰祭のOBOGの集まりに使用したりなど少し敷居が高い。

キャンパス全体図

第二・第三エリア…A・B

2学食堂

食堂のなかで最も広く、パーティー会場としても使われることもあります。

3学食堂

少し高めだが、おいしい食堂。日替わり定食や弁当など種類も豊富。定食にはデザートがついてくるそうです。

名店街

3学食堂の隣にある食堂街。カレーやラーメン、うどんそば等種類豊富にお店がある。

粉とクリーム

通称コナクリ。おいしいパンが並んでる。パンの種類が豊富で、会計のお姉さんのスピードは圧巻です。

丸善

コンビニ。教室にちかいですでく混む。

体育・芸術エリア…C

体芸食堂

鶏肉の唐揚げ定食、カレーライスなどがあります。秘伝のたれなるものがあるとか。

栄パン

パン屋。体バチにある。

鈴屋

パン屋。芸バチにある。

平砂宿舎エリア…D

平砂食堂

平砂共用棟にある食堂。基本すいているのでゆっくり食べられる。

平砂風呂

平砂共用棟にあるお風呂。1回180円で入れる。不定期でフルーツ風呂がある。

宿舎

一の矢宿舎…①

他の宿舎エリアより緑が豊かなエリア。いわゆる森みたいなエリア。コミュニティはすごく強固で、入学早々に友達ができる学生がおおい。

平砂宿舎…②

大学中央部に近いため、様々な学類の学生が住んでいたり、集合場所になりやすかったりと何かとにぎわいやすい。

グローバルビレッジ…③

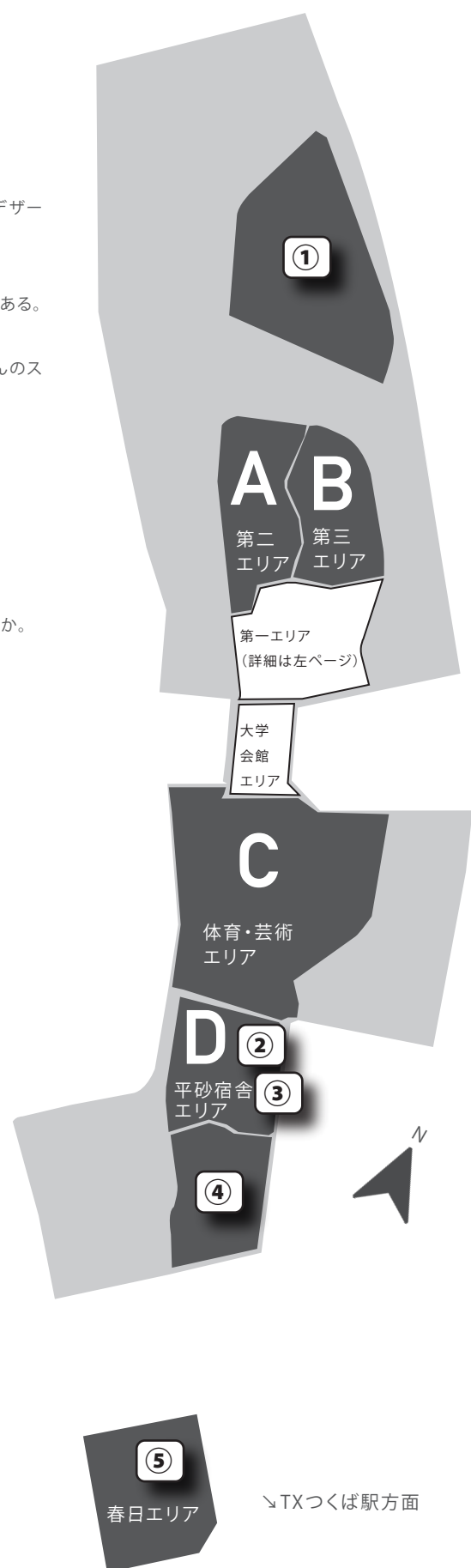
平砂宿舎エリア内の南東部にある、国際交流を重視したシェアハウス。新しく、他より設備などが充実していてすごくきれい。

追越宿舎…④

平砂宿舎の南隣。エリア北部の広場を囲むように小さめの棟が並んでいる場所が特徴的。

春日宿舎…⑤

春日エリア内にある宿舎。春日エリアで学ぶ学生などが住む。大学中央からは遠いが、駅に近いのは便利。



宿 舎 生 活

筑波大学の宿舎は周辺のアパートと比べて家賃が安く、大学の敷地内にあるため教室に近いことなどから、比較的多くの筑波大学1年生が入居します。また、合格から入学の間の忙しさを緩和するため、宿舎に住んでからアパートを探す人もいるようです。

宿舎の設備

個室

広さは約6畳。設備は建物によって多少異なるが、ベッド・机・椅子・洗面台・蒸気循環式暖房パネル・LANポート・内線用電話機等がある。

共用設備

キッチン・コインシャワー・洗濯機・乾燥機・トイレ等

主な費用

- ・1か月あたり寄宿料+共益費：19410円(未改修棟は15380円)
- ・保証金：30000円
- ・清掃費：7560円(保証金より差し引き)
- ・電気料金(3か月ごとの請求)
- ・コインシャワー9分,洗濯機,乾燥機各1回100円

食事

共用設備のキッチンで自炊をする人や、IHを買ってそれを使って自炊をする人もいる。また、大学周辺は飲食店も豊富なため、外食をする人もおおい。



↑居室内の見取り図(一例)

お風呂

平砂共用棟に180円ではいれる銭湯があるが、コインシャワーで済ます人が多い。

洗濯

1回100円。乾燥機を使うにはもう100円。後者の100円を節約して部屋干しにするかどうかは、季節などの条件と個人の裁量によって異なる。

自分で用意するもの

冷蔵庫・電子レンジ・炊飯器・卓上IH調理器・カーペット・こたつ・衣装ケース・金属のラックなど…いろんなものを置くと、狭くなりました。初めのころは家具を少なめにしたほうが良いかもしれないです。

学 生 団 体

筑波大学には、大学公認の学生団体が250近くあります。やりたいことがきっと見つかると思います。また、様々な学類の学生が集まるのでいろんな考えを学べたり、人脈を広げる場にもなります。

課 外 学 生 団 体

文化系サークル連合会

文化系サークルには文化系サークル連合会という団体があります。これは、筑波大学の文化系と称する課外活動団体が加盟する組織です。文化系サークル連合会に所属する団体は、文化系サークル館、通称「文サ館」で主に活動しています。構成員は全体で1200名を超えます。活動内容は「文化系」のイメージにとらわれず非常に広く、自分の趣味に合ったサークルがきっと見つかります。

- | | | |
|------------------------------------|----------------|---------------------|
| ・筑波大学電気通信研究会 | ・現代視覚文化研究会 | ・筑波文学の会 |
| ・E.S.S. (English Speaking Society) | ・茶道同好会 | ・天文研究会 |
| ・池坊華道部 | ・茶道部和敬清寂社 | ・TOJO K-ON |
| ・囲碁部 | ・社会福祉研究会 | ・ねっしー・自然教育研究会 |
| ・宇宙工学研究会 | ・写真部さくら組 | ・文芸部 |
| ・映画研究部 | ・手話サークル | ・マジシャンズクラブ |
| ・SF研究会アルビレオ | ・将棋部 | ・漫画研究会 |
| ・園芸クラブ | ・図画団 | ・野外活動クラブ |
| ・海洋研究会 | ・ストーリーテリング研究会 | ・野生動物研究会 |
| ・歌留多部 | ・T.A.S.C. | ・歴史探訪会 |
| ・斬桐舞 | ・筑波大鉄研「旅と鉄道の会」 | ・Amusement Creators |
| ・CLOVER～難民と共に歩むユース団体～ | ・つくば鳥人間の会 | |

Pick Up!! 図画団🔍

美術系サークル「図画団」は、個人の作品制作を大事にした、かなり自由なサークルです。展示やミーティングも行っていますが、出席義務はないので、他の団員と交流したり、作品を見せ合ったりする為の場として使っていただければと思います。ミーティングは木曜日にあり、お題に沿った作品を見せ合ったり、模写をしたりします。火曜日は自由に部室を使える日です。みんなでご飯に行ったり、展覧会や旅行にも行っています。

体 育 会

筑波大学体育会には部会、同好会、医学を含め計71団体が所属しています。これらの団体には施設等の優先権や、紫峰会と呼ばれる筑波大学の後援団体の補助を受けられるようなさまざまな権利を有しています。体育会の運営は全て所属する団体の構成員によって行われています。

部会	・水泳部	・フィールドホッケー部
・アーチェリー部	・スキー部	・ヨット部
・合気道部	・漕艇部	・ライフセービング部
・アイススケート部	・男子ソフトボール部	・ラグビー部
・男子アイスホッケー部	・女子ソフトボール部	・男子ラクロス部
・女子アイスホッケー部	・体操部	・陸上競技部
・アメリカン・フットボール部	・体操競技部	・オリエンテーリング部
・鹿島神流武道部	・卓球部	・女子ラクロス部
・空手道部	・ダンス部	
・弓道部	・トライアスロン部	同好会
・剣道部	・軟式庭球部	・剣道同好会
・硬式庭球部	・馬術部	・サッカー同好会
・硬式野球部	・男子バスケットボール部	・バスケットボール同好会
・サイクリン ^g 部	・女子バスケットボール部	・バドミントン同好会
・蹴球部	・バドミントン部	・バレーボール同好会
・女子サッカー部	・男子バレーボール部	・フェアリースキークラブ
・柔道部	・女子バレーボール部	・ワンダーフォーゲルクラブ
・準硬式野球部	・男子ハンドボール部	・トランポリン同好会
・少林寺拳法部	・女子ハンドボール部	・アルティメット同好会INVERHOUSE

医学部会
・医学アイスホッケー部
・医学弓道部
・医学剣道部
・医学硬式庭球部
・医学ゴルフ部
・医学サッカー部
・医学準硬式野球部
・医学水泳部
・医学スキー部
・医学ソフトテニス部
・医学卓球部
・医学バスケットボール部
・医学バドミントン部
・医学バレーボール部
・医学ハンドボール部
・医学ヨット部
・医学ラグビー部
・医学陸上競技部

Pick Up!! 男子バスケットボール部

私たち筑波大学男子バスケットボール部は、現在国公立大学で唯一関東大学リーグ1部に所属し、日本一を目指し日々活動を行っています。昨年度は、関東大学バスケットボール選手権大会（トーナメント） 優勝、関東大学バスケットボール新人戦 第5位、関東大学バスケットボールリーグ戦 第5位、全日本大学バスケットボール選手権大会（インカレ） 準優勝という成績を残しました。

部活を通してバスケットボールの技術の向上だけでなく、社会に出ても通用する人間になることも目標としており、礼節においても重きを置いています。近年では、大学バスケットボール界に留まらず、毎年Bリーグ・実業団チームにも数多くの卒業生を輩出し、さらなる飛躍を続けています。また、バスケットボール界だけに限らず、様々な分野において先輩方が活躍しています。

芸術系サークル連合会

芸術系サークル連合会には音楽系や演劇系をはじめ、多種多様なサークルが所属しています。学内外でそれぞれのサークルが個性あふれる素晴らしいパフォーマンス・展示を行っています。同じジャンルでもそれぞれ雰囲気が異なるので、様々なサークルを訪れてみてください！

・アカペラサークルDoo-Wop	・ジャグリングサークルSheep	・つくばフォーク村
・E.L.L.(筑波軽音楽協会)	・写真部	・T H K 筑波放送協会
・応援部WINS	・JAZZ愛好会	・ときめき太鼓塾
・合唱団むくどり	・書道部	・人形劇団NEU
・管弦楽団	・吹奏楽団	・ピアノ 愛好会
・ギター・マンドリン部	・津軽三味線倶楽部無絃塾	・ViCC-映画をつくる会
・劇団筑波小劇場	・筑波音楽協会	・フォルクローレ愛好会
・混声合唱団	・筑波能・狂言研究会	・舞踏研究会

・ブロックフレーテ同好会
・邦楽部
・ミュージカル集団ESSASSA
・落語研究会
・男声合唱団メンネルコール
・筑波大学ジャズ楽団
・Neopolis BIGBAND

Pick Up!! 書道部

書道部は週に2回、6A403教室で、仲良く自由に活動しています。雙峰祭での書展に向けた作品製作が主な活動で、作品テーマは完全に自由です。雙峰祭では他にも、ステージ上で生書道をする、「書道パフォーマンス」も行います。日本の文化としての側面から、留学生の方が多数所属する代もあります。

一般学生団体

文化系

・アイセック筑波大学委員会	・T I C A (Tsukuba International Christian Assembly)	・のうりんむら	・麻雀同好会
・宇宙技術プロジェクト		・LGBT QAサークル にじひろ	・CoMedつくば
・韓国留学生会	・Chi Alpha Tsukuba Bible Club	・ドットジェイピーつくば支部	
・クイズ研究会	・TPC (Tsukuba Program-ming Circle)	・筑波大学EVカート研究会	・L U Z
・宿舍祭実行委員会	・国際問題研究会 (IIRA)	・就活支援団体TAKE@WAY	・Omochi Language Club
・聖書研究会	・桐政会		・筑波大学音楽ゲームサークルTEA
・台湾留学生会	・とんぴくりん	・Brains	・Persatuan Pelajar Indo-nesia Ibaraki
・チェスサークルCafe・Rejansu	・日本史研究会	・Tsukuba for 3.11	(在日インドネシア留学生協会茨城支部)
・中国留学生学友会	・花火研究会	・スカイスポーツクラブアイオロス	・筑波大学広域B B S 会
・つくつく	・HS CaT	・ゆにっと	・同窓交流研究会Dam
・筑波医学生国際交流連盟 (TIMSA)	・プライマリケア研究会	・UTIC (University of Tsukuba Internationl Community)	・ヤングアメリカンズ 筑波大学学生チーム
・筑波学生文芸賞運営委員会	・ぷよぷよサークルUPC	・僕らの夏休みProject 筑波大学支部	・FAST(フィリピン留学生会)
・つくばぬいぐるみ病院	・Free Education(エフィ)	・日本マラウイ学生団体	・つくばお笑い集団DONPAPA
・つくばピア	・お菓子作りサークル ヘンゼルとグレーテル	・Association of Africa Students,University of Tsukuba(AAASUT)	・インドワークキャンプ団体namaste!
・つくばフェアトレード推進委員会FRAT	・学び場さくら塾		・Nu Ink.
・つくばポケモン大好きクラブ	・ミステリー研究会		・筑波大学静岡県人会
・つくばろぼっとサークル	・ラジオサークル roots		
	・留学生交流会TISA		
	・ジオネットアース		

体育系

・硬式テニス愛好会FOREST	・知的障害者スポーツ支援「スポーティア」	・武道護身空手部	・カヌークラブ
・硬式テニスサークルADVANT		・ULISバドミントン部	・MasterPeace
・硬式テニス同好会Fancy Tennis Club	・筑波ジョギングクラブ	・ULISバレーボール部	・ハンドボール同好会
・柔道同好会	・Tsukuba Basketball Club	・陸上競技同好会	・ライフルシューティング
・水泳同好会	・筑波マリンダイビングクラブ	・WorldFut Tsukuba	・INTERNATIONAL BOXING CIRCLE
・SPIKERS'Inc	・図情バスケットボールサークル	・スポーツ愛好会	・Tsukuba Fitness Club
・ソフトテニスサークルOn the Line	・軟式野球同好会TSUKU-BA JOKERS	・ラグビー同好会U.T.C	・新体操 競技部
・卓球同好会	・軟式野球部	・ボウリングクラブ	
	・Picnic Tennis Team	・キックボクシング同好会	
		・ボクシングサークル	

芸術系

- ・劇団SONIC BOOM

・ダブルダッチサークルpurplume

・バンド*ストッカクラブ* PBCM

・弾き語りクラブ「アンプラグド」
- ・医学フィルハーモニー

・ヒーローアクション同好会

・アイドル研究会

・作曲サークルD T M Lab.
- ・つくばV S C

・焼き物をつくる会

・Realjam

・筑波大学ケルト音楽愛好会T-Celt

委員会

全代会(全学群・専門学群代表者会議)

全専門学群・学類から代表者を選抜して学校の環境改善などの大学全体の問題について大学と議論を行う。

クラス代表者会議

学類の代表者。授業の改善や学類イベントのことの主催をおこなう。

スポーツデー学生委員会

年二回行われる唯一の大学主催行事、スポーツデーの運営を行う委員会。

学園祭実行委員会

11月の上旬に行われる雙峰祭の運営を行う委員会。組織構成人数は300人以上で、9つの局に分かれており、自分に合った形で運営に参加できる。二年生が執行代の委員会。

OPT(Orientation Project Team)

OPTは正式名称を旧自然学類新入生歓迎委員会といい、旧自然学類と呼ばれる理工学群 数学類・物理学類・化学類・生命環境学群 地球学類の新入生を歓迎するイベントを企画する委員会です。新入生のためにクラス対抗ドッチボールや、履修説明会など、さまざまなイベントを企画します。学類の後輩とのつながりができます。

大学説明会委員会

夏と春に行われる大学説明会で高校生に学類の特徴や大学の授業、研究室などを紹介する委員会。我々は数学類・物理学類・化学類の3学類合同にて行っている。

新入生歓迎祭推進委員会

全学的に行われる新歓の主催を行う委員会。

Newton祭委員会

毎年12月に行われる物理学類の研究室配属の手助けをする委員会。

卒業後の進路

筑波大学に入学したらどのような進路を進むのか、ざっくり見てみましょう。学類ごとの細かな進路は就職課HPや学類HP等を参照してください。数学類・物理学類・化学類はグラフのように全体の約80％は大学院に進学し、修士課程を修了して就職する人と、さらに博士課程に進んで就職または研究者となる人に分かれます。

数学類 卒業者 37名

進学者		就職者		資格試験準備他
本学大学院	19	企業	6	6
その他		1		5

物理学類 卒業者 57名

進学者		就職者	研究 生等
本学大学院	43	企業	7
その他		4	1
			資格試験準備他 2

化学類 卒業者 51名

進学者		就職者	
本学大学院	38	企業	10
その他		2	公務員
			1

(平成29年度学類卒業者進路状況)

教員免許を取得するには

教員免許は定められた所定の講義を取り、申請することによって取得できます。取得したい教員免許に関する講義に加え、教職に関する講義等を受ける必要があるため、通常より多くの講義を履修します。

取得可能な教員免許

数学類、物理学類または化学類に所属する場合、主に以下のような教科の教員免許状を取得可能です。各学類で取得可能な教員免許をまとめると次のようになります。

数学類：中学校教諭一種(数学)、高等学校教諭一種(数学・情報)

物理学類：中学校教諭一種(数学・理科)、高等学校教諭一種(数学・理科)

化学類：中学校教諭一種(理科)、高等学校教諭一種(理科)

委員からのメッセージ

悔いが残らないように、
最後まで諦めずに
頑張ってください!!
最後の最後まで、結果は
わかりません!! みはさんの
入学をお待ちしています!!
小林 萌愛

まあまあそこそこがんばって
ください、 五十嵐 かな

たまにはのんびり
自分のペースで
頑張ってください!! 岡田朋哉

この文章を見たあなた、
絶対に受かります。 東 勇佑

勉強 Fight ♡♡♡
3年 (けいじ)

入ったら楽しいから
頑張れ!!
須永 泰聖

諦めずに続けることで道は
開けるはずです。最後までFight!
清水 壮太
とにかく諦めないでがんばって
ください。 長瀬 麗央

大変だとは思いますが頑
張ってください! 大学で待っ
ています! 加藤 莉子

諦めずに最後まで努力すれば
夢は叶うはずです!頑張ってください!!
井上 七海

無理せず自分の
できる範囲でがんばっ
てください!!
益子 莉昭

今は勉強が辛い大変な時期
だけど、大学に入ったら楽しいことが
たくさん待っています! 明るい未来を
思い描きながら、自分を信じて頑
張ってください!! 中村 祐菜

体調管理に気を付けて、
最後まで戦いぬいて下さい。
受験は自分を試みる良い
機会。全て終わった頃には
一周り成長した自分に出会
うはずです。 濱口 明日香

まずは、体調管理です。
万全の状態での勉強はま
ごとと自信です自信に
根拠はいいりません。今まで
と比べて頑張れば、ごまか
は他の誰よりも、あなた自身
わかっていはずですよ。その
頑張り)を最後まで続けられ
て受かります。

中村 成吾

まずは自分の得意な教科を
1つでもつくること! そしたら
それがモチベーション!
たゆみなく一瞬おそんでリフレッシュ!
木村 奎太

勉強のしすぎで体調をこ
わさないようにしてください!
相持 隆也

大変なことかもしれませんが
思いまわが、適度に息抜き
しながら頑張ってください!
大学でまたお会いしましょう
高橋 花南

勉強、がんばってください!
前田 由良

最後まで諦めず頑張ってください!
受験を乗り越えれば楽しい大学生活
が待っています! 川平 江那

辛い時期ですが乗り越えていく為に
勉強に励んで下さい! 飯塚 孝一
試験が終わるまで手遅れでは
ありません! 最後まで諦めず
頑張ってください! 戸野 雄介

勉強、進路、悩むことは多い
と思いますが、そればかりではありません!
努力を続けてください!
牧野 創

息抜きしながらコツコツと
勉強頑張ってください!
小川 知里

ニヤからエミナマなニヤカ
ワいて思っています。自分を信じて
がんばってください!!
韓 睿佳

根拠のない自信を持って
やってみよう! 後から根拠は
ついてきます! 頑張れ!
白田 英貴

諦めず最後まで自分を
信じて頑張ってください!
吉武 輝

自分の好きなことを見つけて、
それに合わせて頑張ってください!
廣田 小太郎

編集後記

まず、この冊子を最後までご覧になっていただきありがとうございます。このパンフレット(NAP)で皆さんの役に立てることがひとつでもあれば嬉しい限りです。

さて、本日からつくばにお越しいただいた方も多くいらっしゃるかと思います。私が初めてつくばを訪れたのは二次試験当日だったのですが、キャンパスの広さと緑の多さに圧倒されました。つくばは自然豊かな土地ではありますが、大学の周辺には多くの研究施設があったり、駅前では実験のロボットが走っていたりと、日常や研究での新発見が多い場所です。緑豊かなつくばの地で最先端の研究を行っている大学、それが筑波大学です。

皆様が新入生として筑波大学に入学してくるであろう日を楽しみにしております。

2019年8月10日

数学類・物理学類・化学類3学類合同大学説明会委員会
NAP部門長 高橋 花南

数学類・物理学類・化学類3学類合同大学説明会委員会 委員

数学類

野尻朋哉・勝又大介・五十嵐功太・神崎誠人・石神愛門・木村奎太・小林萌愛・白田英貴・牧野創

物理学類

須永泰聖・益子寿昭・倉持花梨・西井明日香・鴨居優希・東勇佑・林美吹・櫻井幹久・能瀬大翔・高橋龍星・長瀬麗央・菊池由良・戸野雄介・相羽憧也・忍田真

化学類

中村成吾・高橋花南・濱口明日香・川本江那・飯塚そよか・中村祐菜・川本優也・木村鮎水・井上七海・加藤莉子・韓叡佳・廣田小太郎・小川知里・清水壮太・吉武輝

寄稿して下さった先生方(敬称略)

数学類

箕知之・佐垣大輔・木下保・相山玲子

物理学類

守友浩・伊敷吾郎・久野成夫・笹公和・中務孝

化学類

市川淳二・一戸雅聡・山崎信哉・石塚智也・瀧辺耕平

WEB INDEX

筑波大学	http://www.tsukuba.ac.jp/
筑波大学 アドミッションセンター	https://ac.tsukuba.ac.jp/
筑波大学 理工学群	http://sse.tsukuba.ac.jp/
筑波大学 理工学群数学類	https://nc.math.tsukuba.ac.jp/college/
筑波大学 理工学群物理学類	http://www.butsuri.tsukuba.ac.jp/
筑波大学 理工学群化学類	http://chemistry.tsukuba.ac.jp/
筑波大学 就職課	https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/

協力

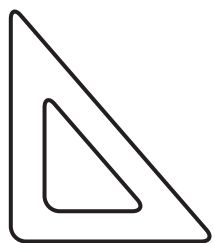
数理物質エリア支援室

Special Thanks

横山瑞樹(パンフレットデザイン)・佐川遥香(ロゴマークデザイン)

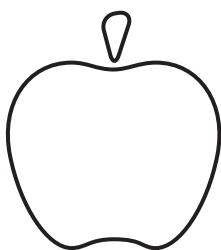
2020年度 数学類・物理学類・化学類3学類合同大学説明会委員会パンフレット

令和元年8月10日発行
令和2年8月17日改訂
発行 数学類・物理学類・化学類3学類合同大学説明会委員会



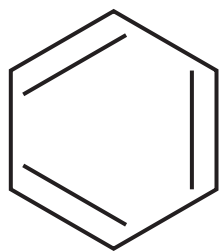
MATHEMATICS

x



PHYSICS

x



CHEMISTRY

OPEN CAMPUS

IMAGINE THE FUTURE.